
矢臼別演習場周辺まちづくり構想
住民アンケート調査結果

北海道野付郡別海町

町民アンケート調査結果

【アンケート調査の概要】

■調査の目的

町民からの発意と行動に基づくまちづくりに取り組むため、住民参加機会の一環として、町民の視点から見たまちづくりの課題を明らかにし、総体的な住民要望を確認するとともに、現在建設が計画されている生涯学習センター及び防災食育センター建設に向けた種々の取り組みにおける意義を高めることを目的とする。

また、基本構想の策定にあたり、別海町民が市街地に対してどのようなイメージを持っているのか、また既存施設や商店街利用の状況、災害に対する備えやニーズ、自衛隊の地域貢献などについてどのような状況になっているのか、意見傾向を把握し、構想策定に反映させる事を目的とする。

■調査の対象者

18歳以上の別海町民の内、無作為抽出による2,500名

【抽出条件】

- ① 平成27年11月1日現在、別海町民として住民記録のある者
- ② 平成27年3月31日時点で、満18歳以上の者

【抽出方法】

- ① 数を用いた抽出番号の生成
- ② 発送日3日前に、異動者一覧表による死亡及び転出者を確認し、不足の場合には次点者を繰り上げて対象者とする。

■調査方法

アンケートの送付は、日本郵便株式会社を用いて実施することとし、送付に当たっては、役場指定の角形2号定形外封筒を用い送付する。

■調査実施期間

調査票の発送時期：平成27年11月20日（金）

調査票の回収期限：平成27年12月28日（月）

■発送数、回収数

アンケート発送数：2,500件

有効回収数：868件

アンケート回収率：34.72%

【アンケート調査結果】

(1) 回答者属性

1) 年代と性別

性別は、「女性」が52.3%、「男性」が46.5%と、あまり変わらない。

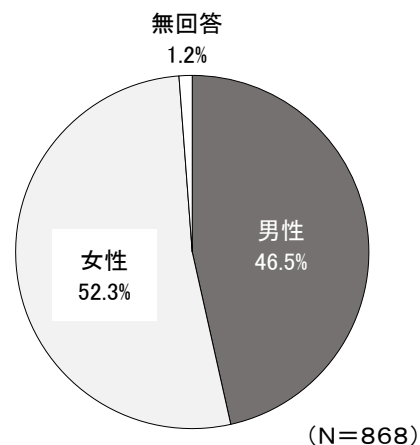


図2-1 性別

年代は、「60代」が22.5%と最も多く、次いで、「70歳以上」19.6%、「50代」18.8%、「30代」15.8%、「40代」14.5%、「20代」7.4%となっている。

『60歳以上』は全体の4割以上を占める。

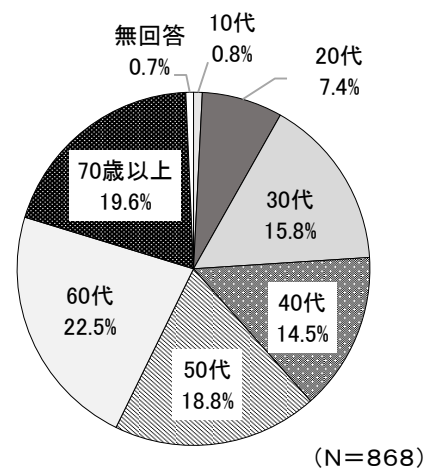


図2-2 年代別

性年代別では、「60代女性」が11.4%と最も多く、次いで、「60代男性」10.8%、「50代女性」10.6%、「70歳以上男性」10.3%、などとなっている。

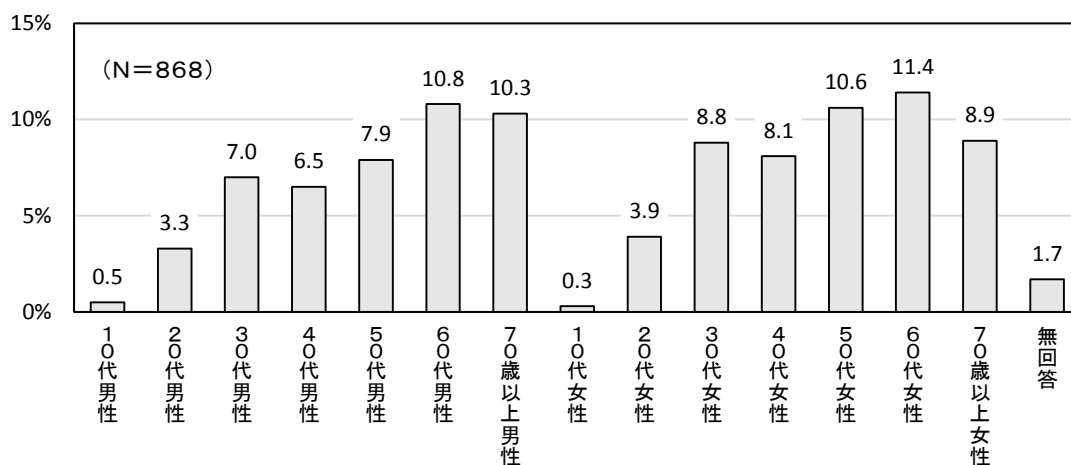


図2-3 性年代別

2) 職業別

職業別では、「その他サービス業（公務員含む）」が23.6%と最も多く、以下、「農林水産業」20.6%、「無職」20.0%、「主婦（夫）」17.2%、「製造業、建設業」7.0%などとなっている。

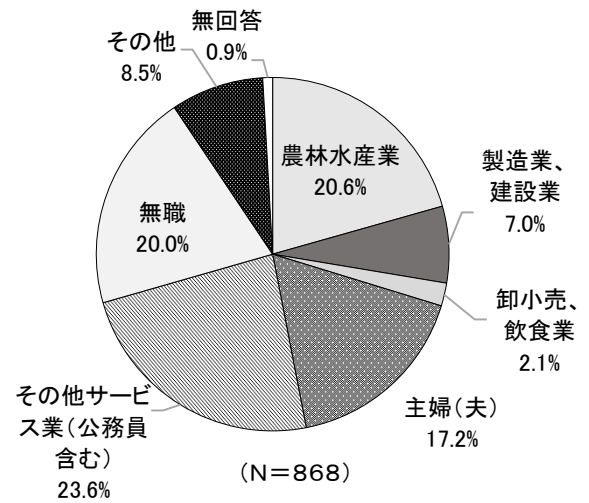


図 2-4 職業別

3) 居住歴

居住歴は、「道内の他の市町村から転入してきた」が32.4%と最も多く、以下、「生まれてから、別海町にずっと住んでいる」27.4%、「別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある」24.4%、「道外の市町村から転入してきた」14.6%となっている。

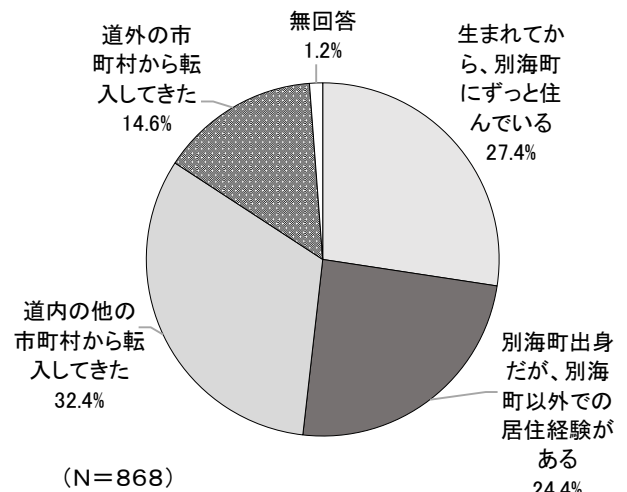


図 2-5 居住歴

4) 現居住区

居住区別では「別海地区」が4割以上を占め、他地区を大きく上回っている。以下、「西春別駅前地区」10.9%、「尾岱沼地区」8.5%、「中春別地区」「西春別地区」とともに6.1%などとなっている。

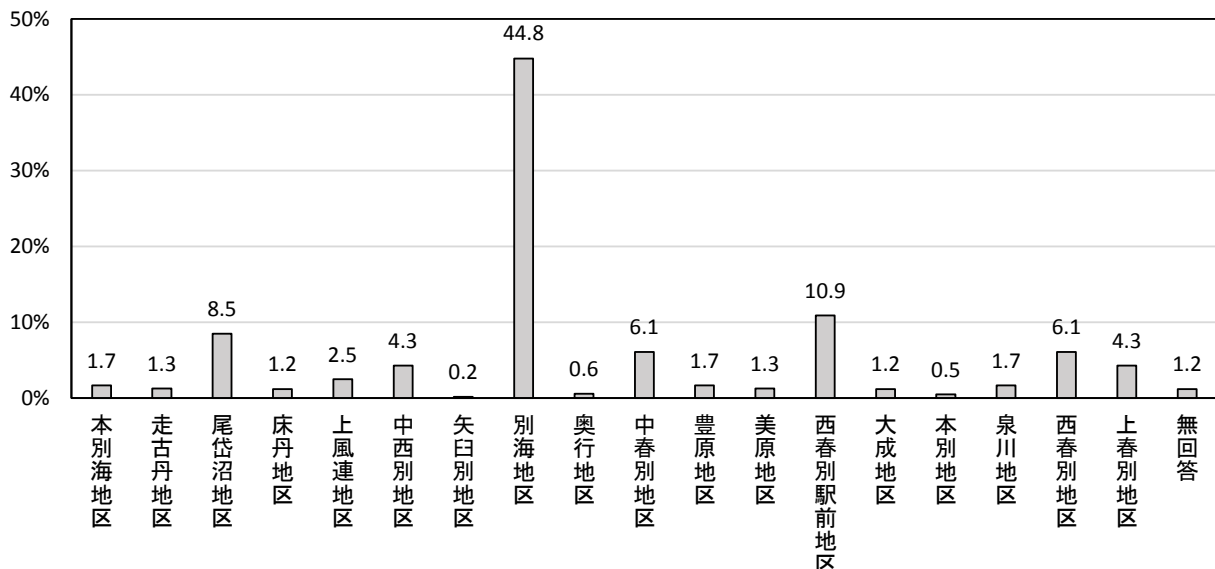


図 2-6 現居住区

5) 居住形態

居住形態別では「一戸建持ち家」が7割以上を占めている。以下、「社宅・寮」9.3%、「公営住宅」5.2%、「民間の賃貸住宅（アパート等）」4.5%、「一戸建借家」3.8%などとなっている。

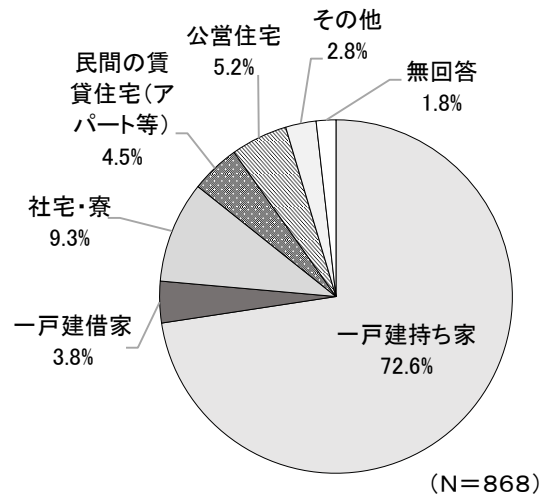


図 2 - 7 居住形態

6) 別海町居住年数

別海町居住年数別では「20年以上」が7割以上を占めている。以下、「20年未満」10.8%、「10年未満」6.1%、「5年未満」4.4%、「3年未満」3.9%「1年未満」1.4%となっており、8割以上の人が『10年以上』別海町に住んでいる。

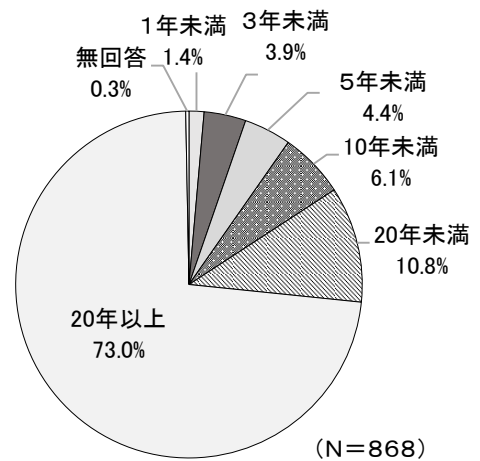


図 2 - 8 別海町居住年数

(2) 別海町での生活について

1) 別海町での生活について

次の(1)～(12)の項目について、あなたのお考えに近いものをお聞かせください。
(1つだけに○)

別海町での生活について尋ねたところ、「(1) 公共施設が充実している」「(6) クルマが利用しやすい」「(10) 今後も別海町に住み続けたい」「(11) いま住んでいる家の満足度」「(12) いま住んでいる地域は、環境が良い」の5項目については4割以上の人が「そう思う」と回答しており、特に「(6) クルマが利用しやすい」は6割近くを占めている。

一方、「(4) 公共交通機関に満足」「(8) レジャー施設が充実している」「(9) 他自治体から人が訪れる魅力を持ったまち」の3項目については4割以上の人が「そう思わない」と回答しており、特に「(8) レジャー施設が充実している」は半数以上となっている。

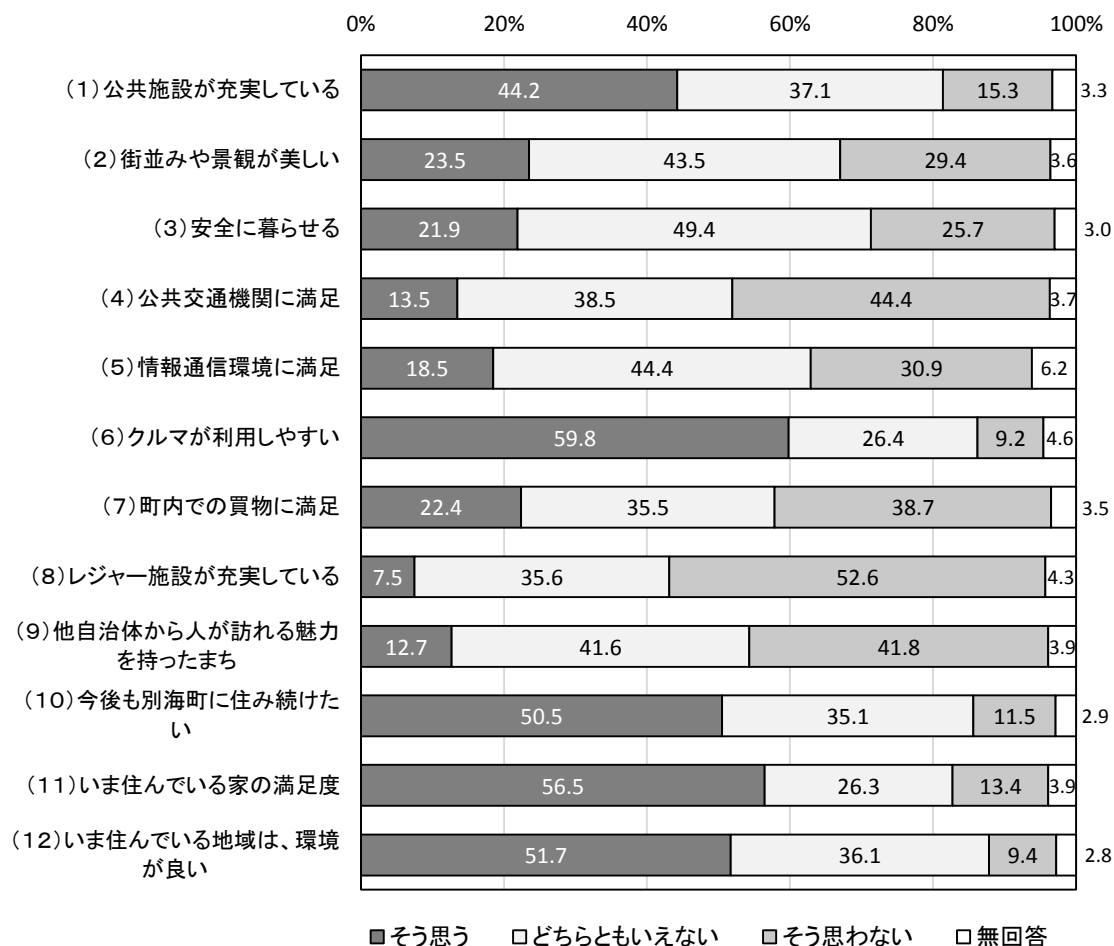


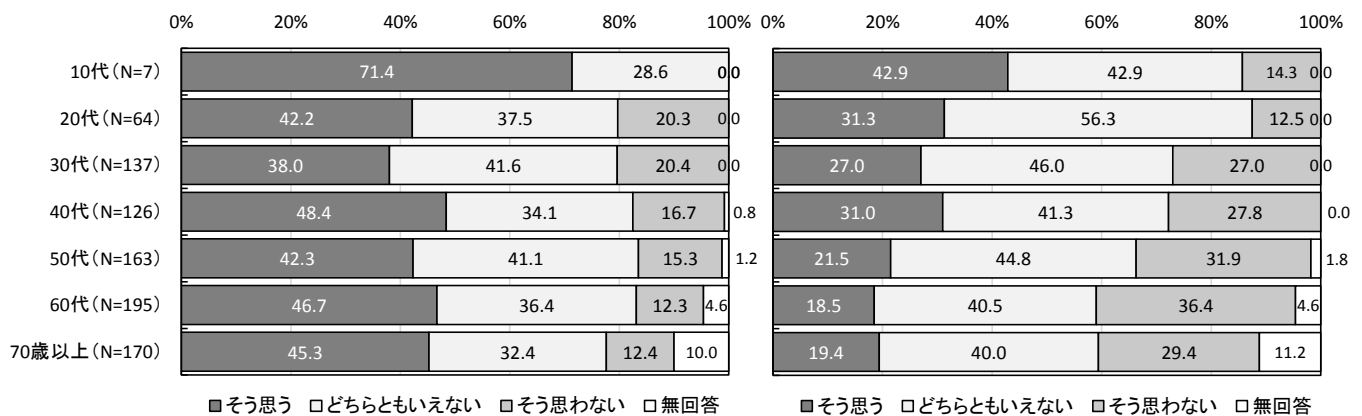
図 2-9 別海町での生活について

年齢別にみると、「(2) 街並みや景観が美しい」は20代・40代で3割以上の人が「そう思う」と回答している。「(3) 安全に暮らせるまち」は年齢が高くなるにつれて「そう思う」と回答する割合が多くなる傾向がみられる。「(6) クルマが利用しやすい」は全年代で半数以上、「(10) 今後も別海町に住み続けたい」では60代以上で半数以上、「(11) いま住んでいる家の満足度」では30代以上の半数以上が「そう思う」と回答している。

一方、「(4) 公共交通機関に満足」では40代・50代で半数以上、「(5) 情報通信環境に満足」では20代～30代で4割以上、「(7) 町内での買物」では20代・30代・50代で4割以上、「(8) レジャー施設が充実している」では20代～50代で6割以上が「そう思わない」と回答している。

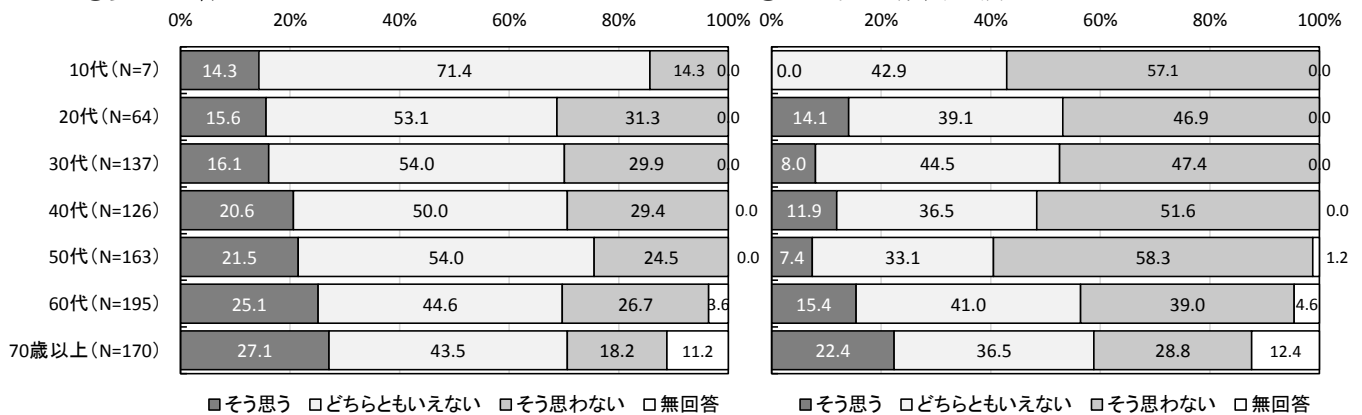
①公共施設が充実している

②街並みや景観が美しい



③安全に暮らせる

④公共交通機関に満足



⑤情報通信環境に満足

⑥クルマが利用しやすい

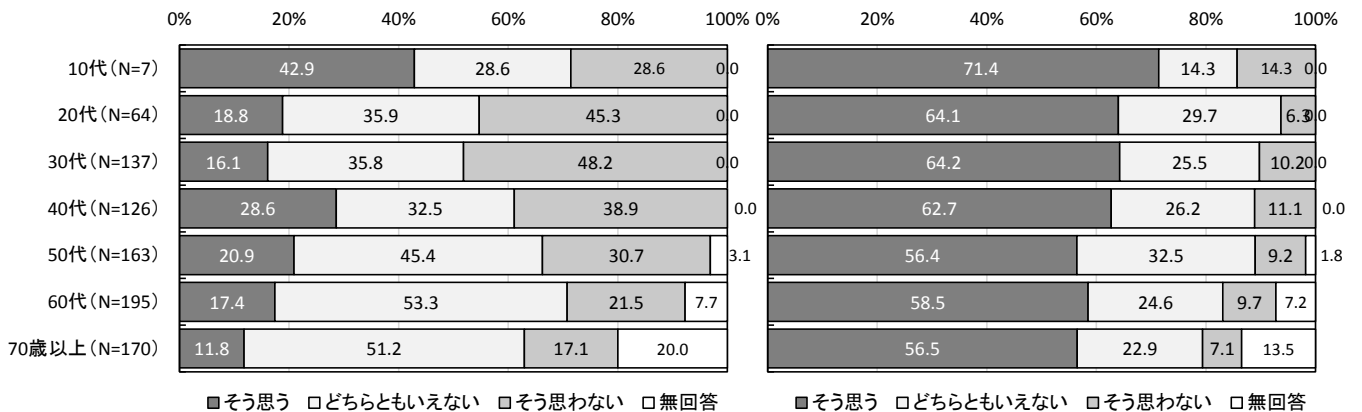
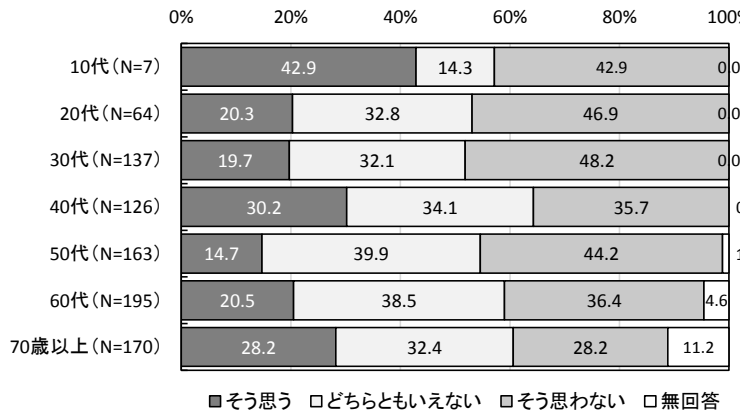
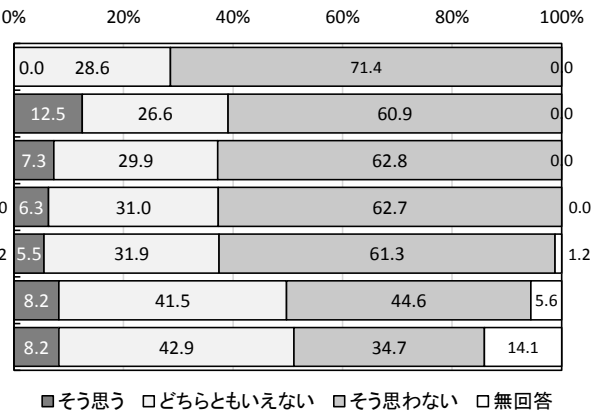


図 2 - 1 0 別海町での生活について（年代別）

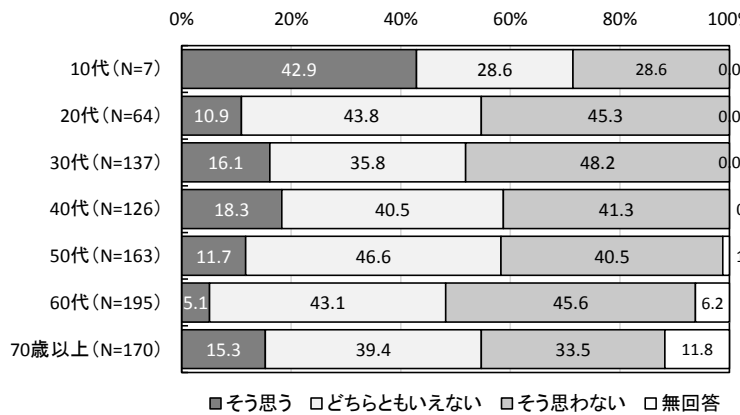
⑦町内での買物に満足



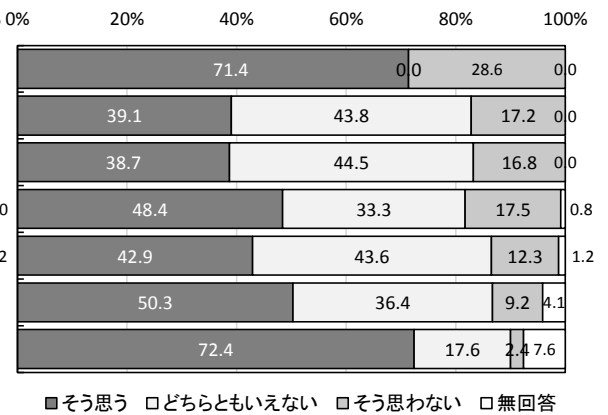
⑧レジャー施設が充実している



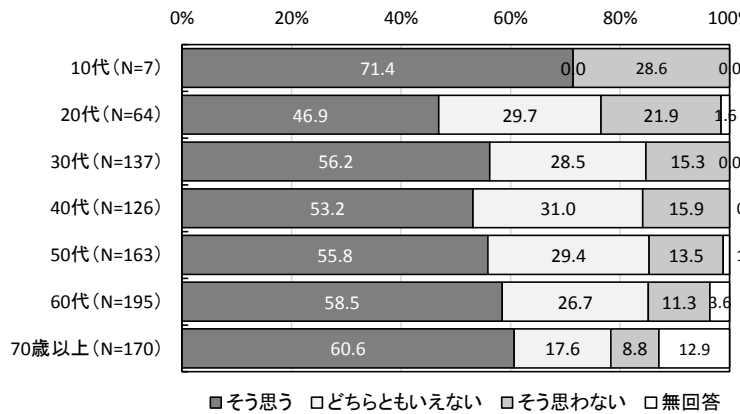
⑨他自治体から人が訪れる魅力を持ったまち



⑩今後も別海町に住み続けたい



⑪いま住んでいる家の満足度



⑫いま住んでいる地域は、環境が良い

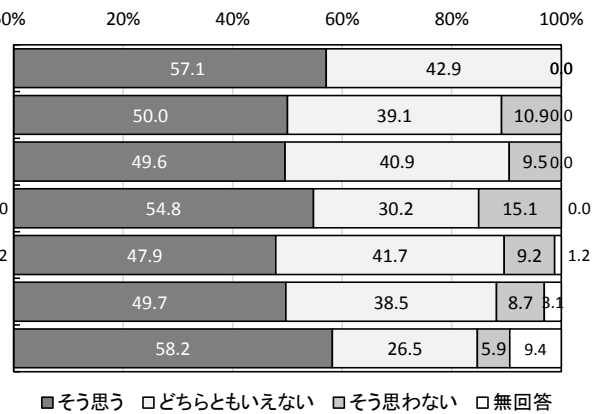


図 2 - 1 0 別海町での生活について（年代別） 続き

(3) 既存施設の利用状況について

1) 中央公民館の利用頻度

3-1 あなたは、中央公民館をどのくらいの頻度で利用しますか。(〇は1つだけ)

中央公民館をどのくらいの頻度で利用するかについて尋ねたところ、全体では「行かない」が33.8%と最も多く、「ほとんど行かない」22.0%を合わせた『ほとんど行かない・行かない』は半数以上となっている。

一方、『月1回以上行く』は、14.2%となっている。

これを年代別にみると、『ほとんど行かない・行かない』は20代～60代では半数以上を占めており、特に20代では8割近くの人々が『ほとんど行かない・行かない』と回答している。

一方、70歳以上では『ほとんど行かない・行かない』と回答した人が37.7%と他の年代より低く、また『月1回以上行く』が30.6%と他の年代に比べて多くなっている。

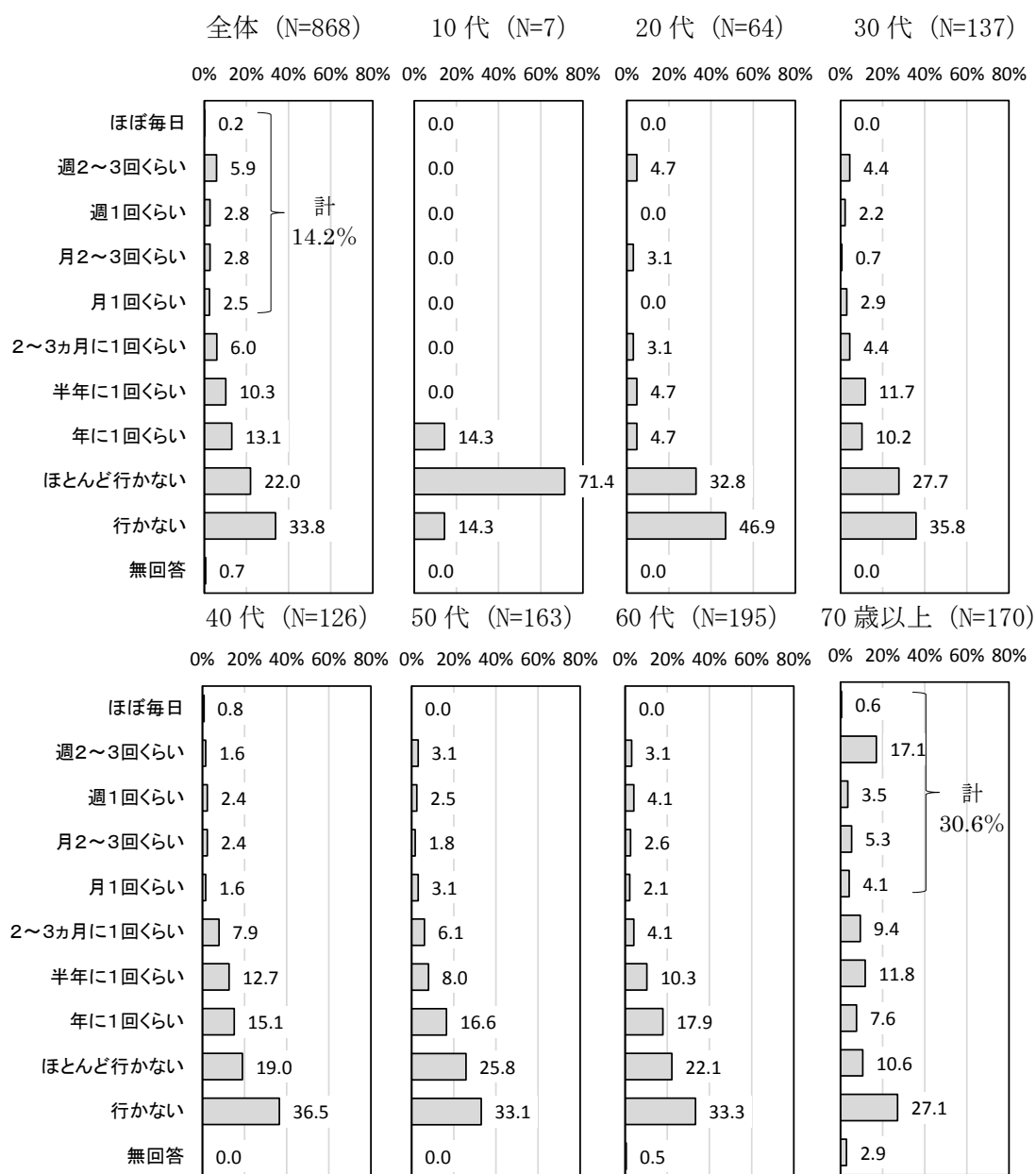


図2-1-1 中央公民館の利用頻度（全体・年代別）

2) 利用目的

3-2 中央公民館を利用する目的は何ですか（〇はいくつでも）

『年に1回以上』中央公民館を利用すると回答した人に、中央公民館を利用する目的について尋ねたところ、「文化祭や催事などのイベント参加」が43.8%と最も多く、以下、「写真や絵画などの展示会」26.7%、「福祉牛乳の受け取り」21.1%、「コンサートなどの鑑賞」19.5%などとなっている。

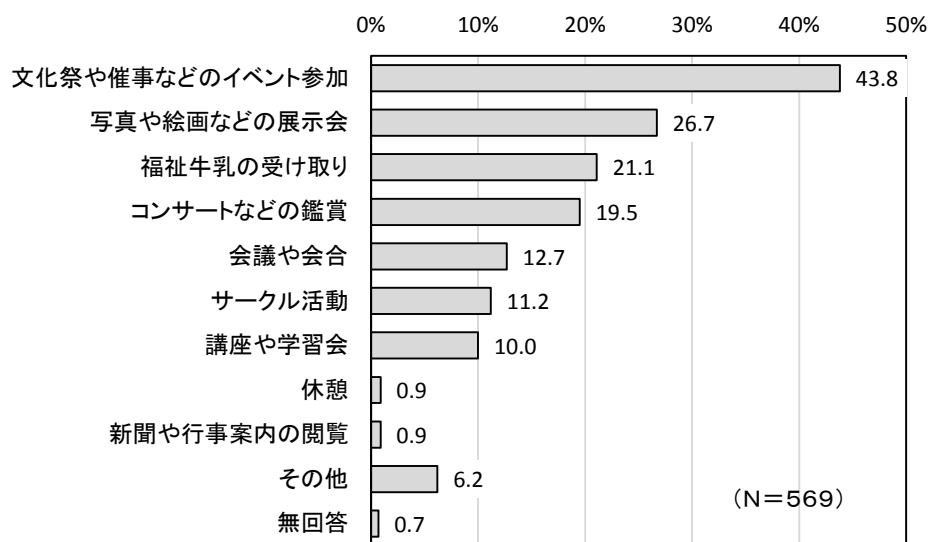


図2-12 利用目的

これを性別にみると、男女ともに「文化祭や催事などのイベント参加」の割合が最も多く、女性は男性より約9ポイント多くなっている。

年代別にみると、30代以上では「文化祭や催事などのイベント参加」の割合が最も多く、3割を超えている。対して20代では「コンサートなどの鑑賞」が20.6%と最も多くなっている。

70歳以上では「福祉牛乳の受け取り」が48.7%と他の年代よりも多くなっている。

居住歴別にみると、いずれも「文化祭や催事などのイベント参加」の割合が最も多く、特に道外の市町村から転入してきた人では6割近くを占めている。

		調査数 (上段：実数) (下段：割合)	コンサートなどの鑑賞	写真や絵画などの展示	サークル活動	休憩	福祉牛乳の受け取り	新聞や行事案内の閲覧	会議や会合	講座や学習会	文化祭や催事などのイベント参加	その他	無回答
全 体		569 100.0	111 19.5	152 26.7	64 11.2	5 0.9	120 21.1	5 0.9	72 12.7	57 10.0	249 43.8	35 6.2	4 0.7
性別	男性	255 100.0	39 15.3	63 24.7	19 7.5	3 1.2	60 23.5	2 0.8	50 19.6	21 8.2	98 38.4	16 6.3	1 0.4
	女性	306 100.0	71 23.2	88 28.8	44 14.4	2 0.7	56 18.3	3 5.1	22 7.2	35 11.4	146 47.7	19 6.2	3 1.0
年代別	10代	6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	20代	34 100.0	7 20.6	5 14.7	3 8.8	1 2.9	6 17.6	1 2.9	4 11.8	6 17.6	6 17.6	4 11.8	0 0.0
	30代	88 100.0	14 15.9	16 18.2	7 8.0	0 0.0	14 15.9	0 0.0	7 8.0	10 11.4	33 37.5	12 13.6	0 0.0
	40代	80 100.0	15 18.8	22 27.5	5 6.3	2 2.5	9 11.3	1 1.3	14 17.5	7 8.8	40 50.0	4 5.0	1 1.3
	50代	109 100.0	29 26.6	35 32.1	10 9.2	0 0.0	9 8.3	0 0.0	12 11.0	7 6.4	53 48.6	8 7.3	0 0.0
	60代	129 100.0	27 20.9	42 32.6	10 7.8	1 0.8	23 17.8	2 1.6	21 16.3	12 9.3	48 37.2	4 3.1	2 1.6
	70歳以上	119 100.0	15 12.6	30 25.2	27 22.7	1 0.8	58 48.7	1 0.8	14 11.8	15 12.6	64 53.8	3 2.5	1 0.8
	生まれながら、別海町にずっと住んでいる	154 100.0	34 22.1	44 28.6	19 12.3	1 0.6	42 27.3	1 0.6	25 16.2	14 9.1	64 41.6	8 5.2	2 1.3
居住歴	別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある	151 100.0	33 21.9	44 29.1	11 7.3	2 1.3	26 17.2	0 0.0	21 13.9	14 9.3	68 45.0	6 4.0	0 0.0
	道内の他の市町村から転入してきた	184 100.0	37 20.1	43 23.4	21 11.4	0 0.0	40 21.7	3 1.6	15 8.2	18 9.8	70 38.0	17 9.2	1 0.5
	道外の市町村から転入してきた	74 100.0	7 9.5	19 25.7	12 16.2	2 2.7	8 10.8	1 1.4	10 13.5	11 14.9	44 59.5	3 4.1	1 1.4

表 2 - 1 利用目的（性別・年代別・居住歴別）

3) 利用する際の交通手段

3-3 中央公民館を利用する際の交通手段は何ですか。(○は1つだけ)

『年に1回以上』中央公民館を利用すると回答した人に、中央公民館を利用する際の交通手段について尋ねたところ、「自家用車」が84.2%と8割以上を占め、以下、「徒歩」8.8%、「自転車」3.0%、「バス」1.6%などとなっている。

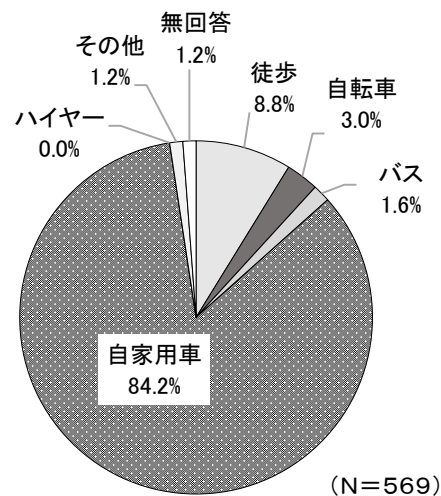


図2-13 利用交通手段

年代別にみると、いずれの年代も「自家用車」が最も多く、7割以上となっている。また、70歳以上では「バス」と回答した人が6.7%と、他の年代よりやや多くなっている。

		調査数	徒歩	自転車	バス	自家用車	ハイヤー	その他	無回答
		(上段：実数) (下段：割合)							
全 体		569 100.0	50 8.8	17 3.0	9 1.6	479 84.2	0 0.0	7 1.2	7 1.2
年 齢 別	10代	6 100.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	34 100.0	5 14.7	2 5.9	1 2.9	26 76.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	88 100.0	3 3.4	2 2.3	0 0.0	82 93.2	0 0.0	1 1.1	0 0.0
	40代	80 100.0	7 8.8	2 2.5	0 0.0	68 85.0	0 0.0	1 1.3	2 2.5
	50代	109 100.0	5 4.6	1 0.9	0 0.0	102 93.6	0 0.0	1 0.9	0 0.0
	60代	129 100.0	14 10.9	4 3.1	0 0.0	106 82.2	0 0.0	1 0.8	4 3.1
	70歳以上	119 100.0	14 11.8	4 3.4	8 6.7	90 75.6	0 0.0	2 1.7	1 0.8

表2-2 利用交通手段（年代別）

4) 今後の公民館において充実して欲しい取り組み

3-4 公民館において充実して欲しい取り組みは何ですか。(〇は3つまで)

【学級・講座について】

公民館において充実して欲しい取り組みについて尋ねたところ、「趣味や教養に関する講座」が48.8%と最も多く、以下、「健康・スポーツに関する講座」31.9%、「子どもの習い事や学習などの学校旧育を補完する教室」29.7%、「食育や料理に関する講座」19.1%、「子育てや家庭教育に関する講座」18.9%、「地域の防災に関する講座」17.6%などとなっている。

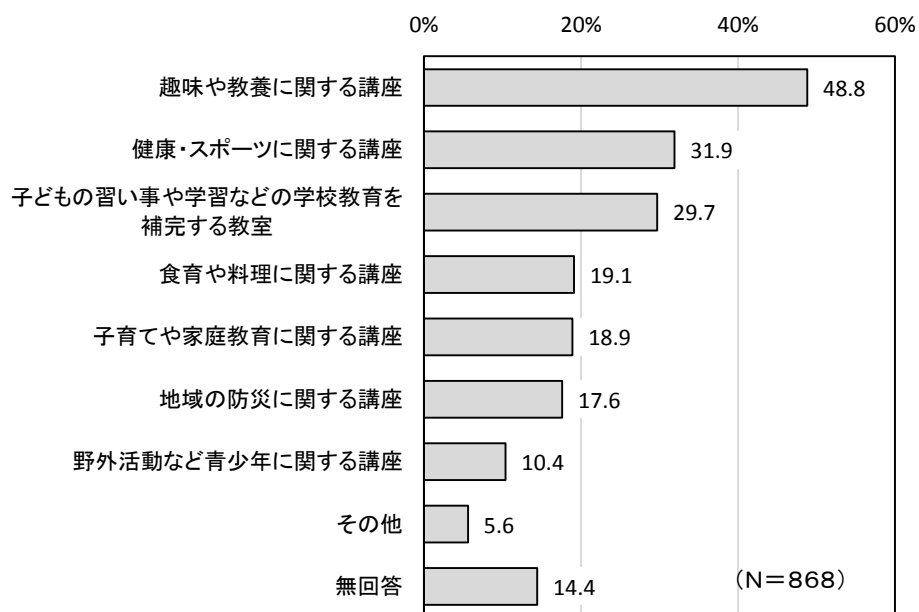


図2-14 公民館において充実して欲しい取り組み

これを性別にみると、男女ともに「趣味や教養に関する講座」の割合が最も多く、女性は男性より約 10 ポイント多くなっている。

年代別にみると 20 代・40 代以上では「趣味や教養に関する講座」の割合が最も多く、特に 50 代では 6 割を超えている。30 代では「子どもの習い事や学習などの学校教育を補完する教室」が 48.9% と最も多い。

別海町居住年数別にみると、3 年未満及び 5 年以上では「趣味や教養に関する講座」の割合が最も多く、5 年未満では「食育や料理に関する講座」及び「子どもの習い事や学習などの学校教育を補完する教室」が最も多くなっており、子育てに関する講座への回答が多くなっている。また、20 年以上では「地域の防災に関する講座」が他の居住年数より多くなっている。

(上段：実数) (下段：割合)		調査数	趣味や教養に関する講座	健康・スポーツに関する講座	子育てや家庭教育に関する講座	食育や料理に関する講座	地域の防災に関する講座	年外活動など講座	子どもを習い事の教室や学習の教室で補完する講座	その他	無回答
全 体		868 100.0	424 48.8	277 31.9	164 18.9	166 19.1	153 17.6	90 10.4	258 29.7	49 5.6	125 14.4
性別	男性	404 100.0	177 43.8	129 31.9	87 21.5	53 13.1	83 20.5	51 12.6	117 29.0	27 6.7	59 14.6
	女性	454 100.0	242 53.3	144 31.7	75 16.5	110 24.2	67 14.8	38 5.1	140 30.8	22 4.8	65 14.3
年代別	10代	7 100.0	6 85.7	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	27 42.2	20 31.3	22 34.4	17 26.6	10 15.6	5 7.8	19 29.7	6 9.4	3 4.7
	30代	137 100.0	59 43.1	43 31.4	43 31.4	27 19.7	20 14.6	26 19.0	67 48.9	5 3.6	8 5.8
	40代	126 100.0	57 45.2	33 26.2	22 17.5	24 19.0	17 13.5	15 11.9	51 40.5	9 7.1	13 10.3
	50代	163 100.0	98 60.1	64 39.3	27 16.6	36 22.1	31 19.0	10 6.1	46 28.2	8 4.9	17 10.4
	60代	195 100.0	103 52.8	65 33.3	25 12.8	40 20.5	38 19.5	11 5.6	41 21.0	11 5.6	35 17.9
	70歳以上	170 100.0	73 42.9	49 28.8	23 13.5	20 11.8	37 21.8	22 12.9	32 18.8	10 5.9	45 26.5
別海町居住年数	1 年未満	12 100.0	5 41.7	6 50.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	5 41.7	0 0.0	0 0.0
	3 年未満	34 100.0	18 52.9	9 26.5	8 23.5	5 14.7	3 8.8	2 5.9	14 41.2	3 8.8	4 11.8
	5 年未満	38 100.0	14 36.8	12 31.6	13 34.2	16 42.1	3 7.9	5 13.2	16 42.1	2 5.3	1 2.6
	10年未満	53 100.0	23 43.4	17 32.1	14 26.4	11 20.8	8 15.1	6 11.3	20 37.7	4 7.5	4 7.5
	20年未満	94 100.0	51 54.3	29 30.9	22 23.4	18 19.1	9 9.6	12 12.8	33 35.1	5 5.3	12 12.8
	20年以上	634 100.0	311 49.1	202 31.9	104 16.4	112 17.7	127 20.0	62 9.8	169 26.7	35 5.5	104 16.4

表 2－3 公民館において充実して欲しい取り組み（性別・年代別・別海町居住年数別）

5) 公民館において充実して欲しい支援

3-5 公民館において充実して欲しい支援は何ですか。(〇は3つまで)

【団体への活動支援について】

公民館において充実して欲しい支援について尋ねたところ、「サークルなどの団体活動に関する指導・助言」が39.1%と最も多く、以下、「ボランティア活動団体に関する指導・助言」27.8%、「各種団体への財政的支援」19.8%、「関連団体や講師などの照会」17.7%、「団体リーダーの育成」16.4%、「NPOなどの市民活動団体に関する指導・助言」13.5%となっている。

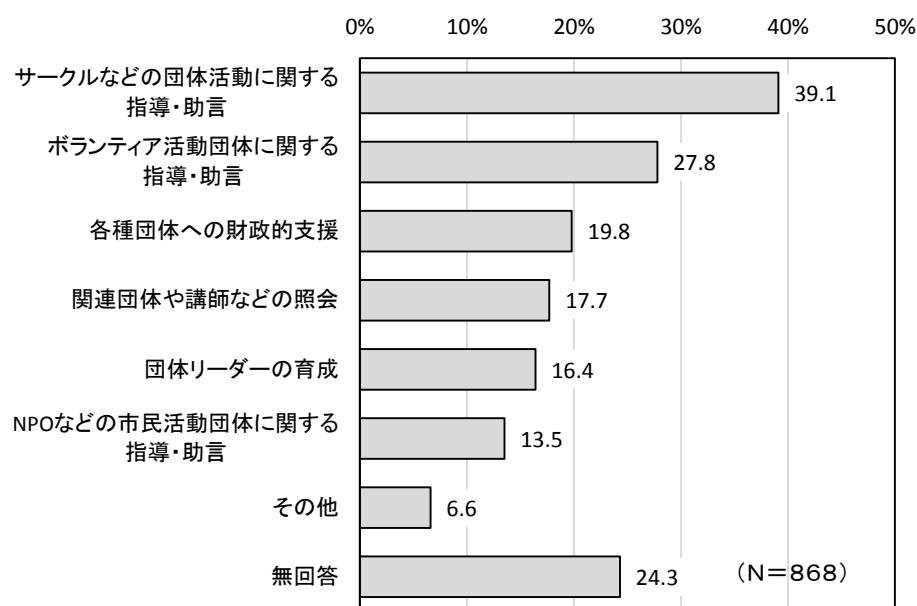


図2-15 公民館において充実して欲しい支援

これを性別にみると、男女間で差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代も「サークルなどの団体活動に関する指導・助言」の割合が最も多くなっている。

別海町居住年数別にみると、10年未満では「ボランティア活動団体に関する指導・助言」の割合が最も多く、10年未満以外の居住年数では「サークルなどの団体活動に関する指導・助言」が最も多くなっている。

		調査数	サークルなどの指導・団体活動	NPOなどの指導・活動	ボランティアに関する指導・活動	各種団体への財政的支援	関連団体や講師などの照会	団体リーダーの育成	その他	無回答
(上段：実数) (下段：割合)										
全 体		868 100.0	339 39.1	117 13.5	241 27.8	172 19.8	154 17.7	142 16.4	57 6.6	211 24.3
性 別	男性	404 100.0	149 36.9	57 14.1	112 27.7	90 22.3	75 18.6	80 19.8	32 7.9	83 20.5
	女性	454 100.0	184 40.5	57 12.6	123 27.1	79 17.4	78 17.2	61 5.1	25 5.5	127 28.0
年 代 別	10代	7 100.0	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	22 34.4	8 12.5	17 26.6	11 17.2	6 9.4	8 12.5	9 14.1	11 17.2
	30代	137 100.0	55 40.1	20 14.6	33 24.1	33 24.1	32 23.4	21 15.3	7 5.1	29 21.2
	40代	126 100.0	47 37.3	23 18.3	32 25.4	20 15.9	27 21.4	18 14.3	8 6.3	27 21.4
	50代	163 100.0	76 46.6	29 17.8	52 31.9	25 15.3	37 22.7	30 18.4	11 6.7	30 18.4
	60代	195 100.0	69 35.4	20 10.3	54 27.7	41 21.0	25 12.8	37 19.0	15 7.7	54 27.7
	70歳以上	170 100.0	60 35.3	17 10.0	50 29.4	41 24.1	26 15.3	27 15.9	7 4.1	57 33.5
別海町居住年数	1年未満	12 100.0	5 41.7	5 41.7	5 41.7	3 25.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	0 0.0
	3年未満	34 100.0	17 50.0	3 8.8	4 11.8	2 5.9	6 17.6	6 17.6	3 8.8	9 26.5
	5年未満	38 100.0	17 44.7	4 10.5	9 23.7	6 15.8	6 15.8	5 13.2	4 10.5	8 21.1
	10年未満	53 100.0	15 28.3	13 24.5	18 34.0	5 9.4	8 15.1	3 5.7	2 3.8	15 28.3
	20年未満	94 100.0	41 43.6	9 9.6	27 28.7	15 16.0	25 26.6	14 14.9	8 8.5	17 18.1
	20年以上	634 100.0	242 38.2	83 13.1	178 28.1	140 22.1	105 16.6	112 17.7	39 6.2	162 25.6

表 2 - 4 公民館において充実して欲しい支援（性別・年代別・別海町居住年数別）

(4) 今後の別海町・別海地区の目指すべき姿について

1) 別海地区市街地へ行く頻度

4-1 別海地区市街地には、週または月に何回くらい行きますか。(〇は1つだけ)

別海地区市街地をどのくらいの頻度で行くかについて尋ねたところ、全体では「住んでいる・ほぼ毎日」が34.8%と最も多くなっている。

一方「ほぼ行かない・行かない」は1割未満となっている。

これを年代別にみると、どの年代も「住んでいる・ほぼ毎日」が最も多いが、70歳以上は他の年代に比べて低くなっている。

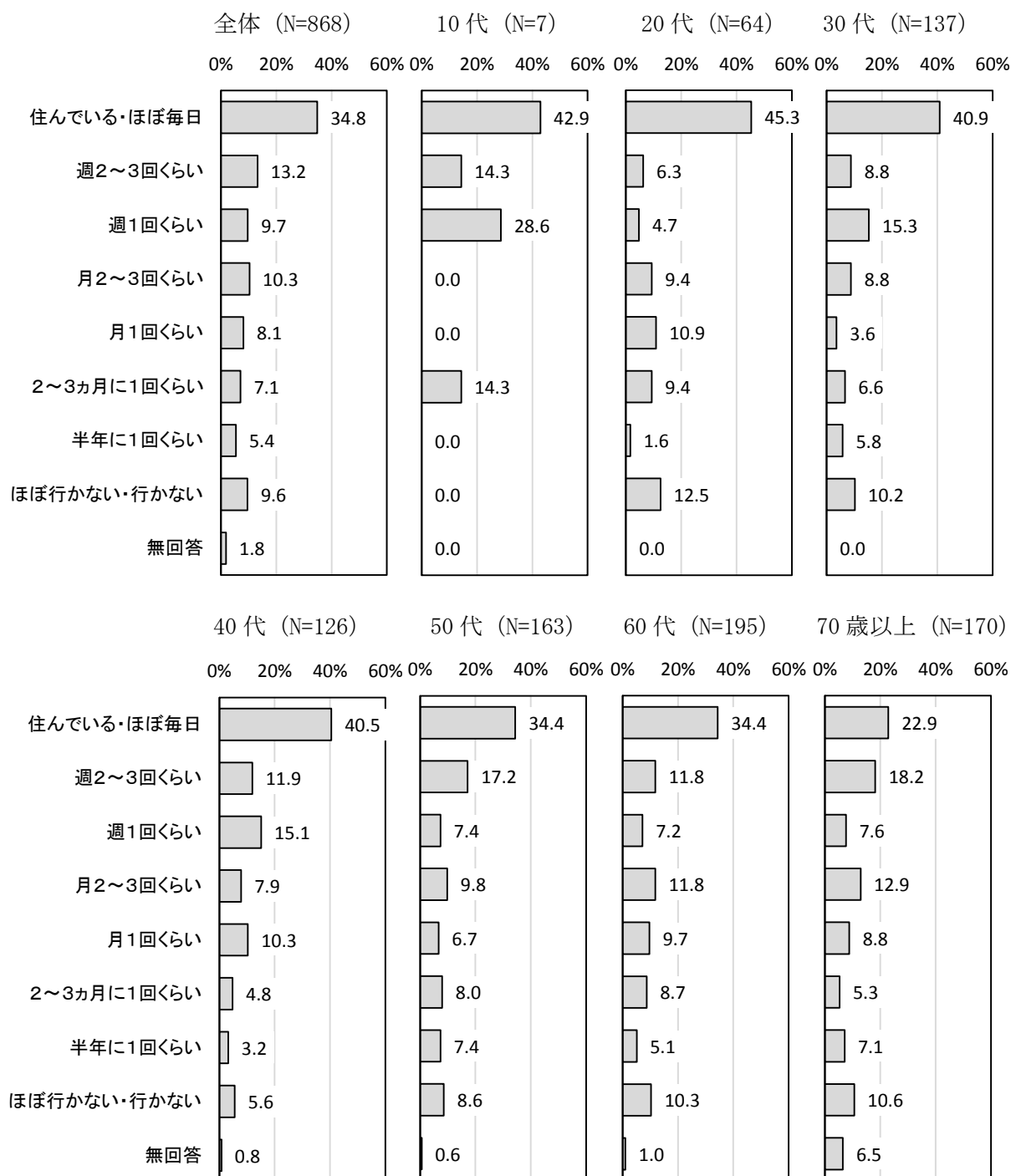


図2-16 別海地区市街地へ行く頻度（全体・年代別）

居住歴別にみると、「住んでいる・ほぼ毎日」がいずれの居住歴でも最も多い。

一方、道外の他の市町村からの転入してきた人では「ほぼ行かない・行かない」と回答した人の割合が14.2%と他の居住歴よりもやや多くなっている。

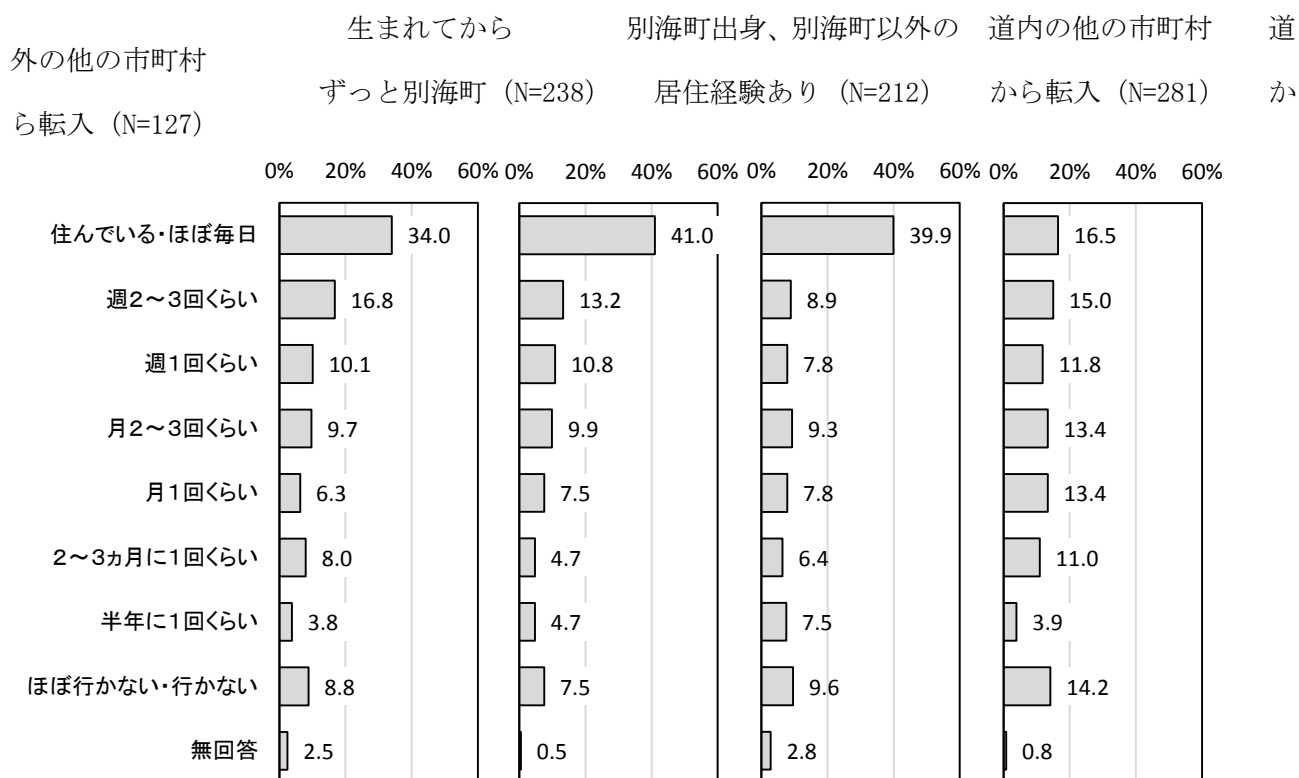


図 2－1 7 別海地区市街地へ行く頻度（居住歴）

2) 別海地区市街地に行く主な目的

4-2 別海地区市街地に行く主な目的を教えてください。(〇は3つまで)

別海地区市街地に行く主な目的を尋ねたところ、「買い物」が68.2%と約7割を占め、以下、「病院や薬局」37.9%、「仕事」20.8%、「郵便局や信金の利用」20.2%などとなっている。

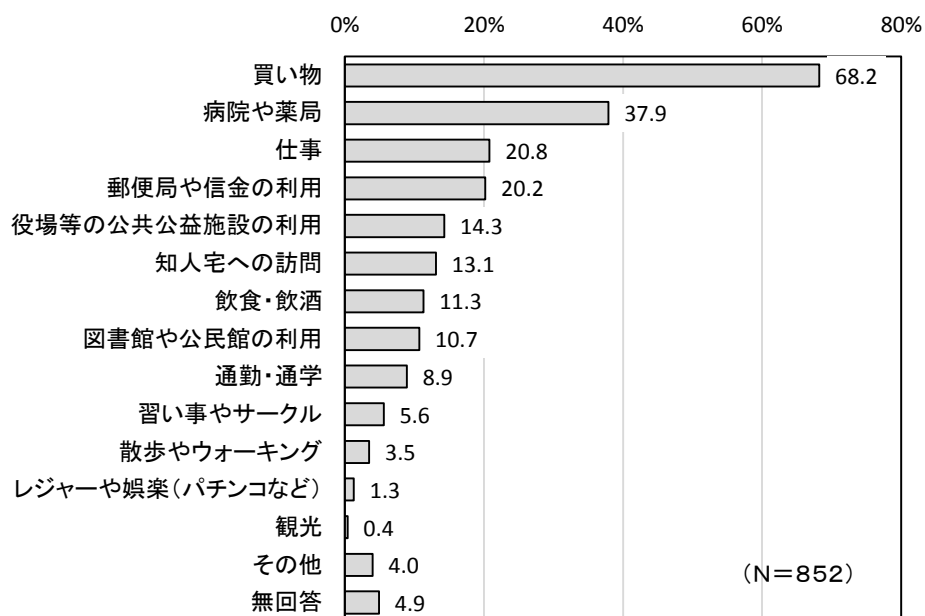


図2-18 別海地区市街地に行く主な目的

性別でみると、男女とも「買い物」が最も多くなっている。また、男性は女性より「仕事」「役場等の公共公益施設の利用」「飲食・飲酒」の割合が多く、逆に女性は男性より「買い物」「病院や薬局」「郵便局や信金の利用」「図書館や公民館の利用」の割合が多くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「買い物」が最も多く、6割以上となっている。70歳以上では「病院や薬局」が他の年代より大きく上回っている。

居住歴別にみると、「買い物」がいずれの居住歴でも6割以上と最も多くなっている。

一方、道外の他の市町村からの転入してきた人では「病院や薬局」「役場等の公共公益施設の利用」「図書館や公民館の利用」と回答した人の割合が他の居住歴の人よりもやや多くなっている。

		調査数	買い物	飲食・飲酒	レジャーや娯楽（パチンコなど）	通勤・通学	仕事	病院や薬局	図書館や公民館の利用	習い事やサークル	観光	散歩やウォーキング	郵便局や信金の利用	知人宅への訪問	役場等の公共公益施設の利用	その他	無回答
	(上段：実数) (下段：割合)																
全 体		852 100.0	581 68.2	96 11.3	11 1.3	76 8.9	177 20.8	323 37.9	91 10.7	48 5.6	3 0.4	30 3.5	172 20.2	112 13.1	122 14.3	34 4.0	42 4.9
性別	男性	396 100.0	257 64.9	62 15.7	9 2.3	39 9.8	101 25.5	140 35.4	31 7.8	11 2.8	1 0.3	16 4.0	68 17.2	43 10.9	71 17.9	13 3.3	19 4.8
	女性	446 100.0	318 71.3	34 7.6	2 0.4	37 8.3	76 17.0	174 5.1	60 13.5	36 8.1	2 0.4	14 3.1	101 22.6	67 15.0	48 10.8	20 4.5	23 5.2
年代別	10代	7 100.0	5 71.4	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	43 67.2	14 21.9	2 3.1	3 4.7	17 26.6	22 34.4	6 9.4	2 3.1	2 3.1	3 4.7	11 17.2	6 9.4	6 9.4	4 6.3	1 1.6
	30代	137 100.0	97 70.8	32 23.4	3 2.2	24 17.5	40 29.2	45 32.8	14 10.2	8 5.8	0 0.0	3 2.2	20 14.6	17 12.4	14 10.2	4 2.9	4 2.9
	40代	125 100.0	87 69.6	14 11.2	0 0.0	17 13.6	42 33.6	40 32.0	16 12.8	8 6.4	0 0.0	2 1.6	26 20.8	4 3.2	15 12.0	6 4.8	6 4.8
	50代	162 100.0	108 66.7	17 10.5	2 1.2	18 11.1	38 23.5	48 29.6	16 9.9	7 4.3	1 0.6	3 1.9	32 19.8	22 13.6	32 19.8	6 3.7	9 5.6
	60代	193 100.0	135 69.9	13 6.7	1 0.5	10 5.2	32 16.6	69 35.8	14 7.3	13 6.7	0 0.0	9 4.7	45 23.3	34 17.6	30 15.5	9 4.7	8 4.1
	70歳以上	159 100.0	103 64.8	3 1.9	3 1.9	4 2.5	7 4.4	95 59.7	24 15.1	10 6.3	0 0.0	10 6.3	37 23.3	27 17.0	25 15.7	4 2.5	13 8.2
	生まれてから、 別海町にずっと住んでいる	232 100.0	159 68.5	20 8.6	1 0.4	21 9.1	43 18.5	97 41.8	19 8.2	9 3.9	2 0.9	13 5.6	43 18.5	36 15.5	32 13.8	7 3.0	10 4.4
居住歴	別海町出身だが、 別海町以外での居住経験がある	211 100.0	153 72.5	28 13.3	4 1.9	26 12.3	61 28.9	66 31.3	13 6.2	11 5.2	0 0.0	6 2.8	53 25.1	33 15.6	33 15.6	5 2.4	7 3.3
	道内の他の市町村から 転入してきた	273 100.0	179 65.6	37 13.6	5 1.8	23 8.4	59 21.6	95 34.8	32 11.7	17 6.2	0 0.0	10 3.7	58 21.2	28 10.3	33 12.1	10 3.7	17 6.2
	道外の市町村から転入してきた	126 100.0	85 67.5	10 7.9	1 0.8	6 4.8	13 10.3	61 48.4	27 21.4	11 8.7	1 0.8	0 0.0	17 13.5	13 10.3	24 19.0	12 9.5	6 4.8

表 2－5 別海地区市街地に行く主な目的（性別・年代別・居住歴別）

3) 今後、別海地区市街地の機能として必要だと思うもの

4-3 今後、別海地区市街地の機能として必要だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

今後、別海地区市街地の機能として必要だと思うものを尋ねたところ、「地元産品を使ったレストラン・カフェ」が44.8%と僅差で最も多く、次いで、「地元農水産品を買える場所」44.5%、「子どもの遊び場(屋内・屋外)」35.4%、「トレーニングジムや軽スポーツのスペース」27.9%、「芝生広場やベンチ・イスが設置された憩い空間」22.7%などとなっている。

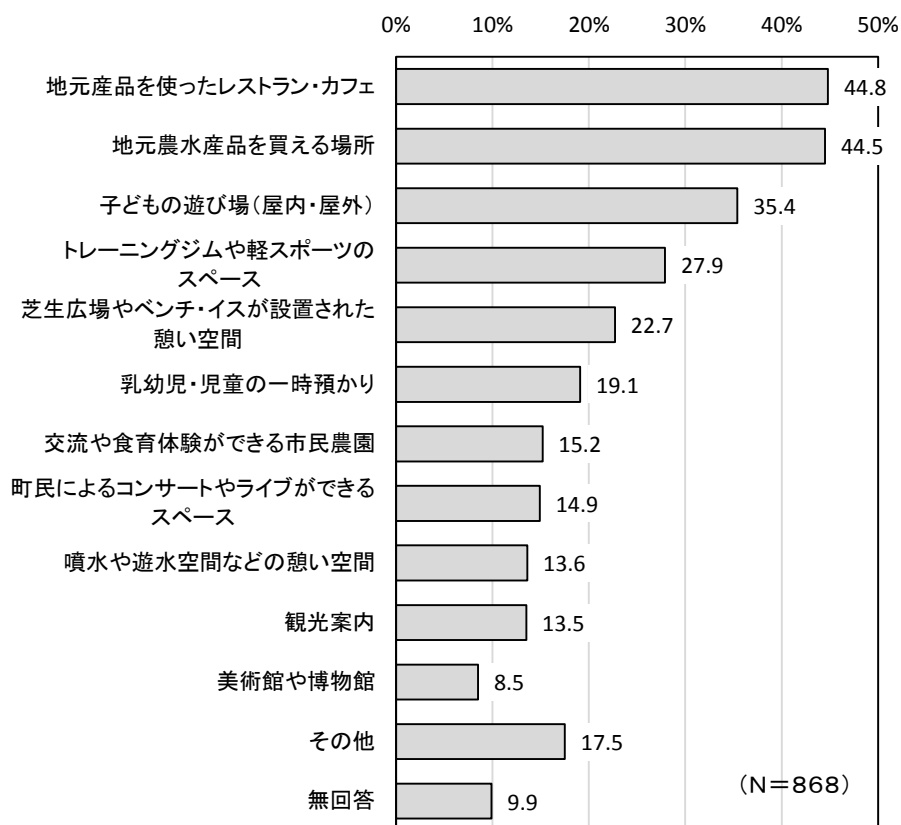


図2-19 今後、別海地区市街地の機能として必要だと思うもの

性別でみると、男性では「地元農水産品を買える場所」が45.8%と最も多く。女性では「地元産品を使ったレストラン・カフェ」が最も多くなっている。また、男性は女性より「トレーニングジムや軽スポーツのスペース」「芝生広場やベンチ・イスが設置された憩い空間」の割合が多く、女性は男性より「子どもの遊び場（屋内・屋外）」「乳幼児・児童の一時預かり」の割合が多くなっている。

年代別でみると、20代・30代で「子どもの遊び場（屋内・屋外）」、40代・50代では「地元産品を使ったレストラン・カフェ」、60代以上では「地元農水産品を買える場所」が最も多くなっている。

(上段：実数) (下段：割合)		調 査 数	憩い 噴水や遊水空間 空間などの	芝生広場やベンチ・イスが設置された憩い空間	子ども・屋外）の遊び場（屋内・屋外）	子ども・ベイスによる遊び場	町民によるコンサートやライブができる場所	地元産品を使ったレストラン・カフェ	乳幼児・児童の一時預かり	地元農水産品を買える場所	交流や食育体験ができる市民農園	美術館や博物館	トレーニングジムや軽スポーツのスペース	観光案内	その他	無回答
全 体		868 100.0	118 13.6	197 22.7	307 35.4	129 14.9	389 44.8	166 19.1	386 44.5	132 15.2	74 8.5	242 27.9	117 13.5	152 17.5	86 9.9	
性別	男性	404 100.0	56 13.9	99 24.5	136 33.7	72 17.8	172 42.6	68 16.8	185 45.8	55 13.6	32 7.9	127 31.4	46 11.4	63 15.6	41 10.1	
	女性	454 100.0	59 13.0	94 20.7	169 37.2	56 12.3	212 46.7	97 5.1	197 43.4	75 16.5	41 9.0	112 24.7	69 15.2	87 19.2	44 9.7	
年代別	10代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	4 57.1	2 28.6	4 57.1	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20代	64 100.0	14 21.9	13 20.3	31 48.4	9 14.1	21 32.8	17 26.6	11 17.2	11 17.2	4 6.3	29 45.3	7 10.9	7 10.9	2 3.1	
	30代	137 100.0	30 21.9	31 22.6	87 63.5	11 8.0	74 54.0	44 32.1	56 40.9	22 16.1	11 8.0	49 35.8	26 19.0	31 22.6	5 3.6	
	40代	126 100.0	12 9.5	20 15.9	57 45.2	23 18.3	65 51.6	33 26.2	46 36.5	14 11.1	13 10.3	38 30.2	17 13.5	27 21.4	8 6.3	
	50代	163 100.0	24 14.7	39 23.9	41 25.2	30 18.4	88 54.0	25 15.3	82 50.3	14 8.6	11 6.7	53 32.5	20 12.3	30 18.4	13 8.0	
	60代	195 100.0	18 9.2	47 24.1	54 27.7	30 15.4	78 40.0	27 13.8	95 48.7	45 23.1	14 7.2	46 23.6	30 15.4	31 15.9	21 10.8	
	70歳以上	170 100.0	19 11.2	44 25.9	32 18.8	24 14.1	58 34.1	18 10.6	92 54.1	25 14.7	19 11.2	26 15.3	17 10.0	26 15.3	35 20.6	

表 2－6 今後、別海地区市街地の機能として必要だと思うもの（性別・年代別）

4) 一次産業のまちとして、今後の必要な取り組み

4-4 一次産業のまちとして、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

一次産業のまちとして、今後の必要な取り組みを尋ねたところ、「特産品の開発」が41.2%と最も多く、以下、「環境の保護」34.9%、「地場産品を使った給食」34.0%、「町内家庭での地場産品の消費」31.6%、「一次産業の職業体験」27.6%などとなっている。

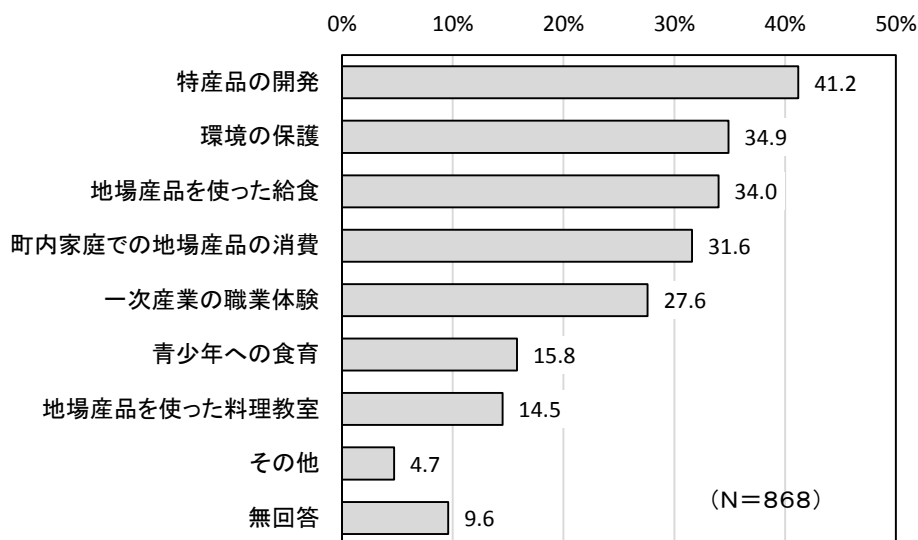


図2-20 一次産業のまちとして、今後の必要な取り組み

性別でみると、男性では「特産品の開発」が45.5%、女性では「地元産品を使った給食」が37.9%と最も多くなっている。

年代別でみると、40代を除く年代で「特産品の開発」、40代では「地場産品を使った給食」が最も多くなっている。

居住歴別にみると、生まれてから、別海町にずっと住んでいる人では「地場産品を使った給食」及び「特産品の開発」がともに38.2%と最も多い。別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある人・道内の他の市町村から転入してきた人では「特産品の開発」、道外の市町村から転入してきた人では「環境の保護」が35.4%と最も多くなっている。

(上段：実数) (下段：割合)		調査数	地場産品を使った給食	環境の保護	青少年への食育	教室・地場産品を使った料理	一次産業の職業体験	特産品の開発	町内家庭での地場産品の消費	その他	無回答
全 体		868 100.0	295 34.0	303 34.9	137 15.8	126 14.5	240 27.6	358 41.2	274 31.6	41 4.7	83 9.6
性 別	男性	404 100.0	121 30.0	143 35.4	58 14.4	46 11.4	108 26.7	184 45.5	125 30.9	25 6.2	34 8.4
	女性	454 100.0	172 37.9	158 34.8	78 17.2	76 16.7	130 28.6	169 37.2	144 31.7	15 3.3	48 10.6
年 代 別	10代	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	18 28.1	25 39.1	9 14.1	4 6.3	26 40.6	32 50.0	17 26.6	3 4.7	2 3.1
	30代	137 100.0	48 35.0	45 32.8	33 24.1	18 13.1	52 38.0	52 38.0	45 32.8	11 8.0	8 5.8
	40代	126 100.0	48 38.1	44 34.9	19 15.1	12 9.5	44 34.9	40 31.7	33 26.2	8 6.3	9 7.1
	50代	163 100.0	58 35.6	59 36.2	24 14.7	26 16.0	37 22.7	74 45.4	54 33.1	5 3.1	12 7.4
	60代	195 100.0	61 31.3	72 36.9	36 18.5	38 19.5	43 22.1	84 43.1	65 33.3	7 3.6	17 8.7
	70歳以上	170 100.0	55 32.4	55 32.4	15 8.8	26 15.3	34 20.0	69 40.6	58 34.1	7 4.1	34 20.0
居 住 歴	生まれてから、 別海町にずっと住んでいる	238 100.0	91 38.2	71 29.8	39 16.4	35 14.7	61 25.6	91 38.2	84 35.3	7 2.9	28 11.8
	別海町出身だが、 別海町以外での居住経験がある	212 100.0	71 33.5	78 36.8	34 16.0	32 15.1	68 32.1	97 45.8	67 31.6	12 5.7	15 7.1
	道内の他の市町村から 転入してきた	281 100.0	93 33.1	106 37.7	43 15.3	40 14.2	73 26.0	123 43.8	81 28.8	15 5.3	25 8.9
	道外の市町村から転入してきた	127 100.0	38 29.9	45 35.4	21 16.5	18 14.2	37 29.1	42 33.1	39 30.7	6 4.7	14 11.0

表2-7 一次産業のまちとして、今後の必要な取り組み（性別・年代別・居住歴）

(5) 災害に備える 減災のまちの実現について

1) 災害発生時、最も不安に思うこと

5-1 災害が発生した場合に、もっとも不安に思っていることは何ですか。(〇は3つまで)

災害発生時、最も不安に思うことについて尋ねたところ、「電気、水道の確保」が77.6%と最も多く7割以上を占めている。以下、「交通網の確保」44.5%、「医療体制の確保」44.4%、「災害に関する情報の確保」37.0%、「自宅の食料確保」35.7%、「電話などの通信手段の確保」19.2%となっている。

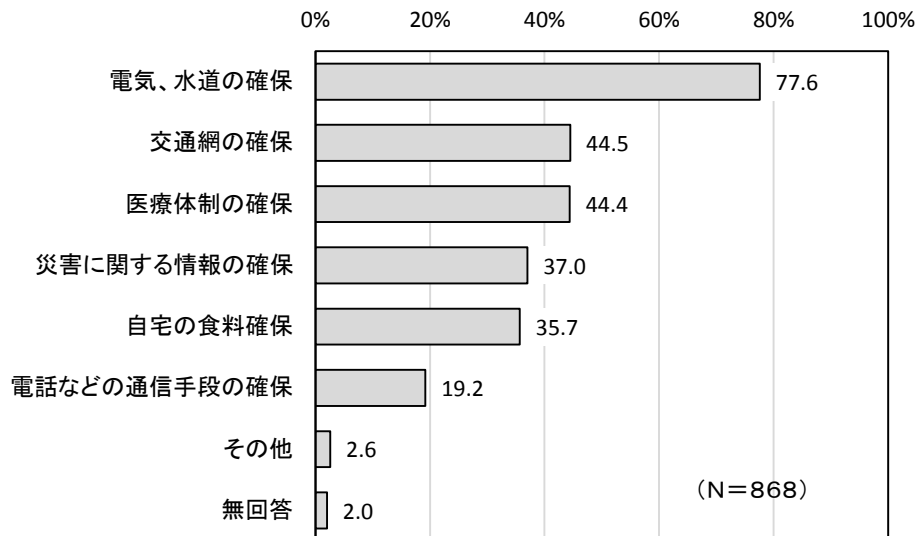


図2-2-1 災害発生時、最も不安に思うこと

性別でみると、男女間の差はみられない。

年代別でみると、いずれの年代も「電気、水道の確保」が最も多くなっている。

また、30代では「自宅の食料確保」が、70歳以上では「電話などの通信手段の確保」が他の年代に比べて多い。

(上段：実数) (下段：割合)		調査数	自宅の食料確保	の災害に関する情報	交通網の確保	電気、水道の確保	医療体制の確保	段電話などの通信手段	その他	無回答
全 体		868 100.0	310 35.7	321 37.0	386 44.5	674 77.6	385 44.4	167 19.2	23 2.6	17 2.0
性別	男性	404 100.0	134 33.2	135 33.4	189 46.8	308 76.2	191 47.3	73 18.1	11 2.7	7 1.7
	女性	454 100.0	172 37.9	184 40.5	192 42.3	357 78.6	190 41.9	92 5.1	12 2.6	10 2.2
年代別	10代	7 100.0	4 57.1	1 14.3	3 42.9	4 57.1	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	29 45.3	24 37.5	32 50.0	40 62.5	20 31.3	13 20.3	7 10.9	0 0.0
	30代	137 100.0	70 51.1	48 35.0	62 45.3	106 77.4	65 47.4	19 13.9	3 2.2	0 0.0
	40代	126 100.0	48 38.1	45 35.7	59 46.8	92 73.0	51 40.5	24 19.0	6 4.8	0 0.0
	50代	163 100.0	57 35.0	59 36.2	73 44.8	139 85.3	71 43.6	33 20.2	1 0.6	1 0.6
	60代	195 100.0	56 28.7	80 41.0	86 44.1	158 81.0	87 44.6	30 15.4	4 2.1	5 2.6
	70歳以上	170 100.0	44 25.9	61 35.9	70 41.2	129 75.9	84 49.4	46 27.1	2 1.2	11 6.5

表 2－8 災害発生時、最も不安に思うこと（性別・年代別）

2) 地域で防災・減災に取り組むために必要なこと

5-2 地域で防災・減災に取り組むために必要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

地域で防災・減災に取り組むために必要なことについて尋ねたところ、「近隣住民や町内会による自主的な助け合い」が71.3%と最も多く7割以上を占めている。以下、「自衛隊や消防等の救助機関との連携」58.8%、「行政による財政的な支援」32.9%、「避難訓練や防災講座等の実施」29.4%、「近隣自治体との連携」27.4%、などとなっている。

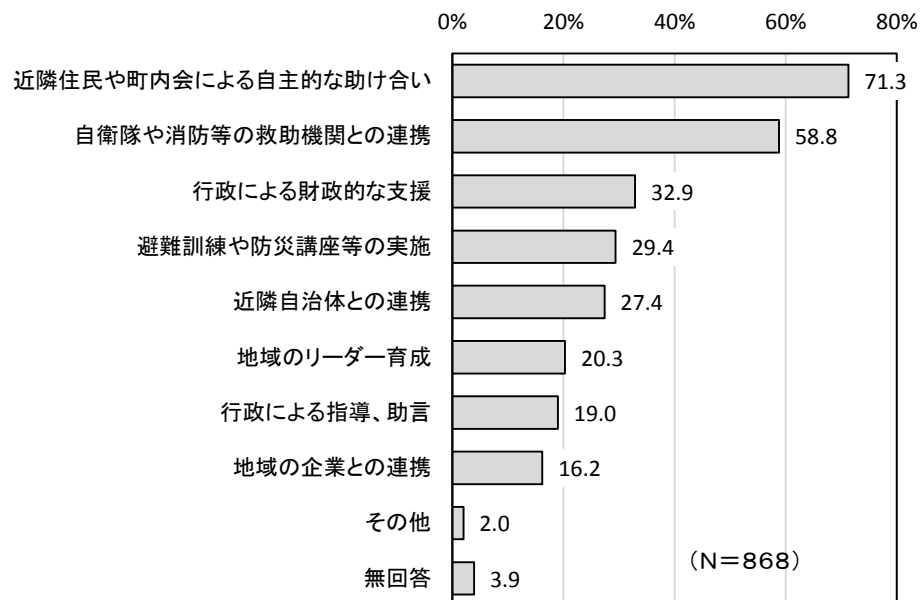


図 2-22 地域で防災・減災に取り組むために必要なこと

性別でみると、男女ともに「近隣住民や町内会による自主的な助け合い」が最も多く、女性は男性より 11.6 ポイント多くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「近隣住民や町内会による自主的な助け合い」が最も多く 6 割を超えている。また、20 代では「行政による財政的な支援」が、30 代・70 歳以上では「近隣自治体との連携」が他の年代に比べて多くなっている。また 70 歳以上では「地域のリーダーの育成」も他の年代に比べて多い。

		調査数	近隣住民や町内会による助け合い	地域のリーダー育成	自衛隊や消防等の救助	地域の企業との連携	近隣自治体との連携	避難訓練や防災講座等の実施	行政による指導、助言	行政による財政的な支援	その他	無回答
(上段：実数) (下段：割合)												
全 体		868 100.0	619 71.3	176 20.3	510 58.8	141 16.2	238 27.4	255 29.4	165 19.0	286 32.9	17 2.0	34 3.9
性別	男性	404 100.0	263 65.1	77 19.1	241 59.7	75 18.6	103 25.5	117 29.0	75 18.6	142 35.1	10 2.5	17 4.2
	女性	454 100.0	348 76.7	98 21.6	262 57.7	64 14.1	134 29.5	134 29.5	87 19.2	140 30.8	7 1.5	17 3.7
年代別	10代	7 100.0	4 57.1	1 14.3	4 57.1	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	39 60.9	4 6.3	33 51.6	12 18.8	16 25.0	14 21.9	11 17.2	26 40.6	2 3.1	3 4.7
	30代	137 100.0	98 71.5	25 18.2	85 62.0	22 16.1	45 32.8	41 29.9	18 13.1	41 29.9	1 0.7	1 0.7
	40代	126 100.0	79 62.7	14 11.1	72 57.1	23 18.3	29 23.0	33 26.2	23 18.3	42 33.3	3 2.4	5 4.0
	50代	163 100.0	106 65.0	29 17.8	106 65.0	25 15.3	40 24.5	52 31.9	27 16.6	51 31.3	3 1.8	7 4.3
	60代	195 100.0	154 79.0	47 24.1	106 54.4	30 15.4	52 26.7	67 34.4	43 22.1	68 34.9	4 2.1	4 2.1
	70歳以上	170 100.0	135 79.4	54 31.8	100 58.8	25 14.7	52 30.6	42 24.7	40 23.5	53 31.2	4 2.4	14 8.2

表 2－9 地域で防災・減災に取り組むために必要なこと（性別・年代別）

3) 災害に際して、町内に不足している施設・設備

5-3 災害に際して、町内に不足している施設・設備は何だと思いますか。(〇は3つまで)

災害に際して、町内に不足している施設・設備について尋ねたところ、「備蓄物資や支援物資」が39.1%と最も多く。以下、「町内への物資の供給拠点」34.4%、「地域の避難施設」28.6%、「地域の備蓄倉庫」28.3%などとなっている。

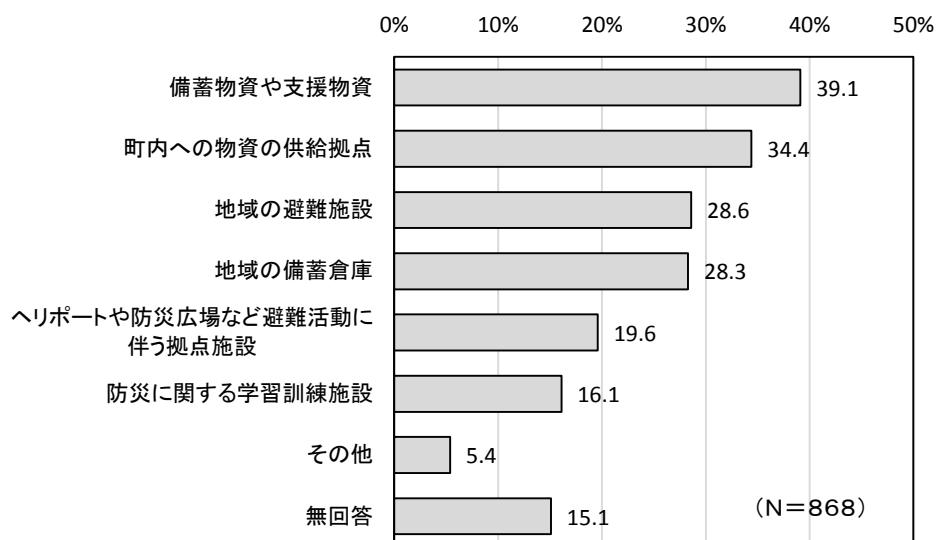


図2-23 災害に際して、町内に不足している施設・設備

性別でみると、男女ともに「備蓄物資や支援物資」が最も多くなっている。また男性は女性より「ヘリポートや防災広場など避難活動に伴う拠点施設」が10ポイント多くなっている。

年代別でみると、20代を除く全ての年代で「備蓄物資や支援物資」が最も多くなっている。20代では「地域の避難施設」が最も多い。また、20代では「ヘリポートや防災広場など避難活動に伴う拠点施設」、30代では「町内への物資の供給拠点」、30代及び70歳以上では「地域の備蓄倉庫」が他の年代に比べて多くなっている。

居住歴別にみると、いずれの居住歴も「備蓄物資や支援物資」が最も多くなっている。また、別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある人は「地域の備蓄倉庫」の割合が他の居住歴の人よりやや多くなっている。

		調査数 (上段：実数) (下段：割合)	備蓄物資 や支援物資	地域の 避難施設	地域の 備蓄倉庫	町内への 物資の 供給拠点	ヘリポート や防災 活動に伴 う広場	防災に 関する 学習 訓練	その他	無回答
全 体		868 100.0	339 39.1	248 28.6	246 28.3	299 34.4	170 19.6	140 16.1	47 5.4	131 15.1
性別	男性	404 100.0	165 40.8	107 26.5	115 28.5	146 36.1	101 25.0	70 17.3	16 4.0	49 12.1
	女性	454 100.0	169 37.2	140 30.8	130 28.6	148 32.6	68 15.0	67 14.8	31 6.8	80 17.6
年代別	10代	7 100.0	5 71.4	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	19 29.7	20 31.3	13 20.3	18 28.1	17 26.6	5 7.8	9 14.1	6 9.4
	30代	137 100.0	59 43.1	41 29.9	46 33.6	55 40.1	19 13.9	21 15.3	10 7.3	13 9.5
	40代	126 100.0	45 35.7	28 22.2	28 22.2	39 31.0	29 23.0	22 17.5	7 5.6	19 15.1
	50代	163 100.0	65 39.9	46 28.2	42 25.8	54 33.1	26 16.0	19 11.7	9 5.5	28 17.2
	60代	195 100.0	75 38.5	55 28.2	55 28.2	67 34.4	39 20.0	37 19.0	9 4.6	29 14.9
	70歳以上	170 100.0	66 38.8	56 32.9	58 34.1	61 35.9	36 21.2	35 20.6	3 1.8	36 21.2
居住歴	生まれてから、 別海町にずっと住んでいる	238 100.0	98 41.2	63 26.5	62 26.1	84 35.3	59 24.8	45 18.9	7 2.9	37 15.5
	別海町出身だが、 別海町以外での居住経験がある	212 100.0	90 42.5	64 30.2	69 32.5	76 35.8	36 17.0	27 12.7	13 6.1	25 11.8
	道内の他の市町村から 転入してきた	281 100.0	107 38.1	86 30.6	75 26.7	101 35.9	46 16.4	49 17.4	14 5.0	43 15.3
	道外の市町村から転入してきた	127 100.0	42 33.1	33 26.0	35 27.6	32 25.2	24 18.9	19 15.0	12 9.4	25 19.7

表2-10 災害に際して、町内に不足している施設・設備（性別・年代別・居住歴）

4) 避難所で困ったこと、困ること

5-4 避難所で困ったこと、困ることは、何だと思いますか。(〇は3つまで)

避難所で困ったこと。困ることは、何だと思うか尋ねたところ、「お風呂やトイレ」が62.7%と最も多い。以下、「水や食料の供給」60.7%、「十分なプライバシーが確保されないこと」40.8%、「医療的支援」37.4%、「家族などとの連絡手段」23.3%などとなっている。

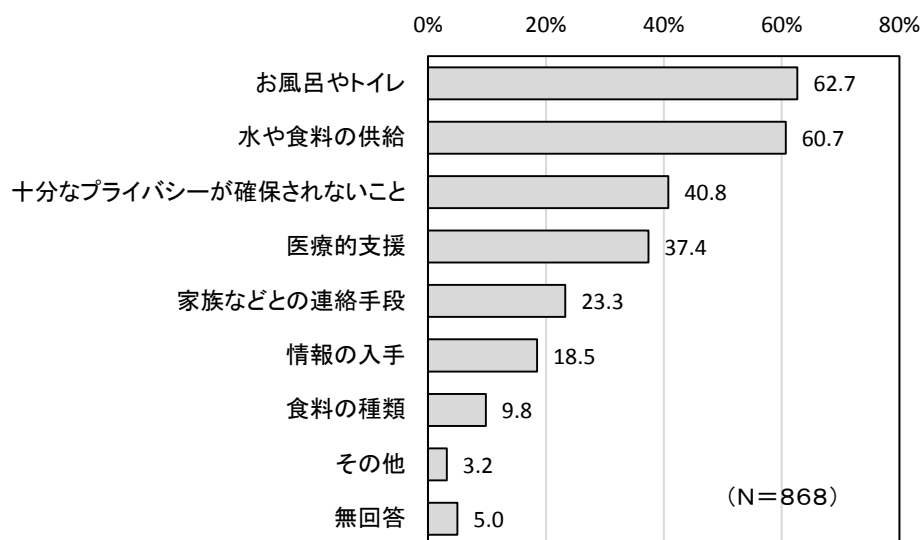


図2-24 避難所で困ったこと、困ること

性別でみると、男性では「水や食料の供給」が60.9%と最も多く、女性は「お風呂やトイレ」が67.0%と最も多くなっている。また女性は男性より「十分なプライバシーが確保されないこと」が43.8%と約6ポイント多くなっている。

年代別でみると、20代及び70歳以上では「水や食料の供給」、30代～60代では「お風呂やトイレ」が最も多くなっている。また、30代・40代では「十分なプライバシーが確保されないこと」が半数以上、60代以上では「医療的支援」が4割以上と他の年代より多くなっている。

居住歴別にみると、生まれてから、別海町にずっと住んでいる人は「水や食料の供給」が最も多く6割以上となっている。それ以外の居住歴の人は「お風呂やトイレ」が最も多く、また、「十分なプライバシーが確保されないこと」の割合が、生まれてから、別海町にずっと住んでいる人よりやや多くなっている。

		調査数 (上段：実数) (下段：割合)	水や食料の供給	食料の種類	家族などとの連絡手段	情報の入手	十分なプライバシーが確保されないこと	医療的支援	お風呂やトイレ	その他	無回答
全 体		868 100.0	527 60.7	85 9.8	202 23.3	161 18.5	354 40.8	325 37.4	544 62.7	28 3.2	43 5.0
性別	男性	404 100.0	246 60.9	34 8.4	87 21.5	86 21.3	152 37.6	152 37.6	234 57.9	7 1.7	26 6.4
	女性	454 100.0	275 60.6	49 10.8	113 24.9	74 16.3	199 43.8	169 5.1	304 67.0	20 4.4	17 3.7
年代別	10代	7 100.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	2 28.6	7 100.0	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	33 51.6	6 9.4	17 26.6	14 21.9	24 37.5	20 31.3	31 48.4	4 6.3	2 3.1
	30代	137 100.0	86 62.8	13 9.5	32 23.4	16 11.7	73 53.3	43 31.4	92 67.2	7 5.1	5 3.6
	40代	126 100.0	65 51.6	16 12.7	31 24.6	22 17.5	67 53.2	33 26.2	90 71.4	5 4.0	3 2.4
	50代	163 100.0	109 66.9	15 9.2	34 20.9	32 19.6	73 44.8	60 36.8	110 67.5	1 0.6	6 3.7
	60代	195 100.0	109 55.9	20 10.3	37 19.0	38 19.5	76 39.0	85 43.6	122 62.6	6 3.1	9 4.6
	70歳以上	170 100.0	113 66.5	15 8.8	49 28.8	37 21.8	35 20.6	78 45.9	89 52.4	5 2.9	18 10.6
	生まれてから、 別海町にずっと住んでいる	238 100.0	152 63.9	22 9.2	60 25.2	57 23.9	80 33.6	94 39.5	142 59.7	7 2.9	14 5.9
居住歴	別海町出身だが、 別海町以外での居住経験がある	212 100.0	126 59.4	15 7.1	54 25.5	34 16.0	97 45.8	67 31.6	132 62.3	7 3.3	10 4.7
	道内の他の市町村から 転入してきた	281 100.0	173 61.6	36 12.8	56 19.9	40 14.2	128 45.6	119 42.3	191 68.0	6 2.1	11 3.9
	道外の市町村から転入してきた	127 100.0	70 55.1	11 8.7	31 24.4	26 20.5	47 37.0	41 32.3	74 58.3	7 5.5	7 5.5

表2-11 避難所で困ったこと。困ること。(性別・年代別・居住歴)

(6) 自衛隊の地域貢献等について

1) 自衛隊の印象

6-1 自衛隊の印象についてお聞かせください。(〇は1つまで)

自衛隊の印象について尋ねたところ、「どちらかといえば良い印象を持っている」が40.8%と最も多く、「良い印象を持っている」24.5%を合わせた『良い印象を持っている』は65.3%と6割以上となっている。

一方、「悪い印象を持っている」3.0%と「どちらかといえば悪い印象を持っている」9.6%を合わせた『悪い印象を持っている』は12.6%と1割ほどである。

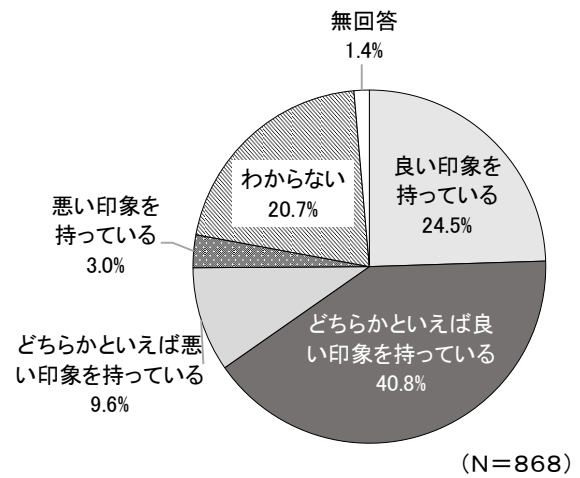


図2-25 自衛隊の印象

性別でみると、『良い印象を持っている』人は男性が72.2%、女性が59.2%と、男性が13ポイント上回っている。

年代別でみると、年代が高くなるにつれて『良い印象を持っている』人の割合が多くなる傾向がみられる。

別海町居住年数別でみると、20年以上居住している人は『良い印象を持っている』割合が約7割と他の居住年数に比べて多くなっている。

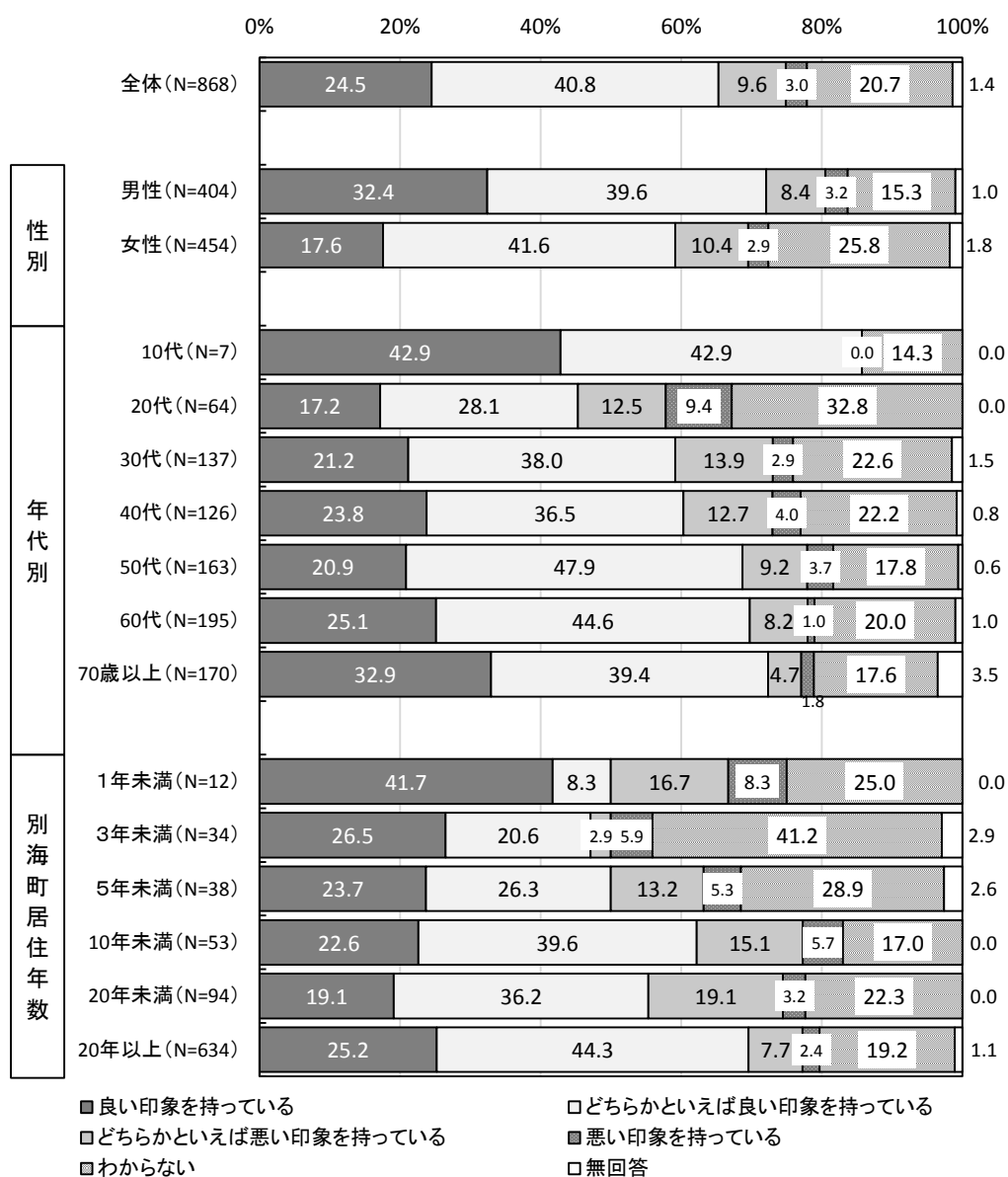


図 2 - 2 6 自衛隊の印象 (性別・年代別・別海町居住年数)

2) 米海兵隊の印象

6-2 米海兵隊の印象についてお聞かせください。(○は1つまで)

米海兵隊の印象について尋ねたところ、「わからない」が35.7%と最も多く。「どちらかといえば良い印象を持っている」19.1%と「良い印象を持っている」7.5%を合わせた『良い印象を持っている』は26.6%となっている。

一方、「悪い印象を持っている」13.9%と「どちらかといえば悪い印象を持っている」22.5%を合わせた『悪い印象を持っている』は36.4%と『良い印象を持っている』を約10ポイント上回っている。

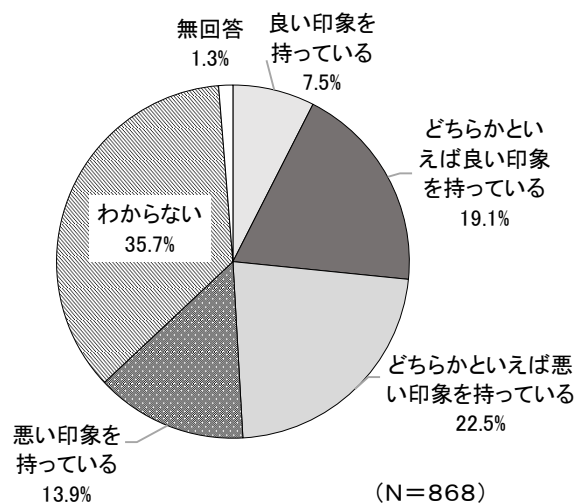


図2-27 米海兵隊の印象

性別でみると、男女ともに「わからない」が最も多くなっており、女性の方が男性より 10.1 ポイント上回っている。また、『良い印象を持っている』人は男性が 38.6%、女性が 15.9%と、男性が 22.7 ポイント上回っている。

一方、『悪い印象を持っている』人は男性が 30.0%、女性が 42.1%と女性の方が 12.1 ポイント多くなっている。

年代別でみると、30 代～50 代で『悪い印象を持っている』人が 4 割以上となっている。

別海町居住年数別でみると、長く居住するにしたがって、「わからない」と回答した人は少なくなる傾向がみられる。

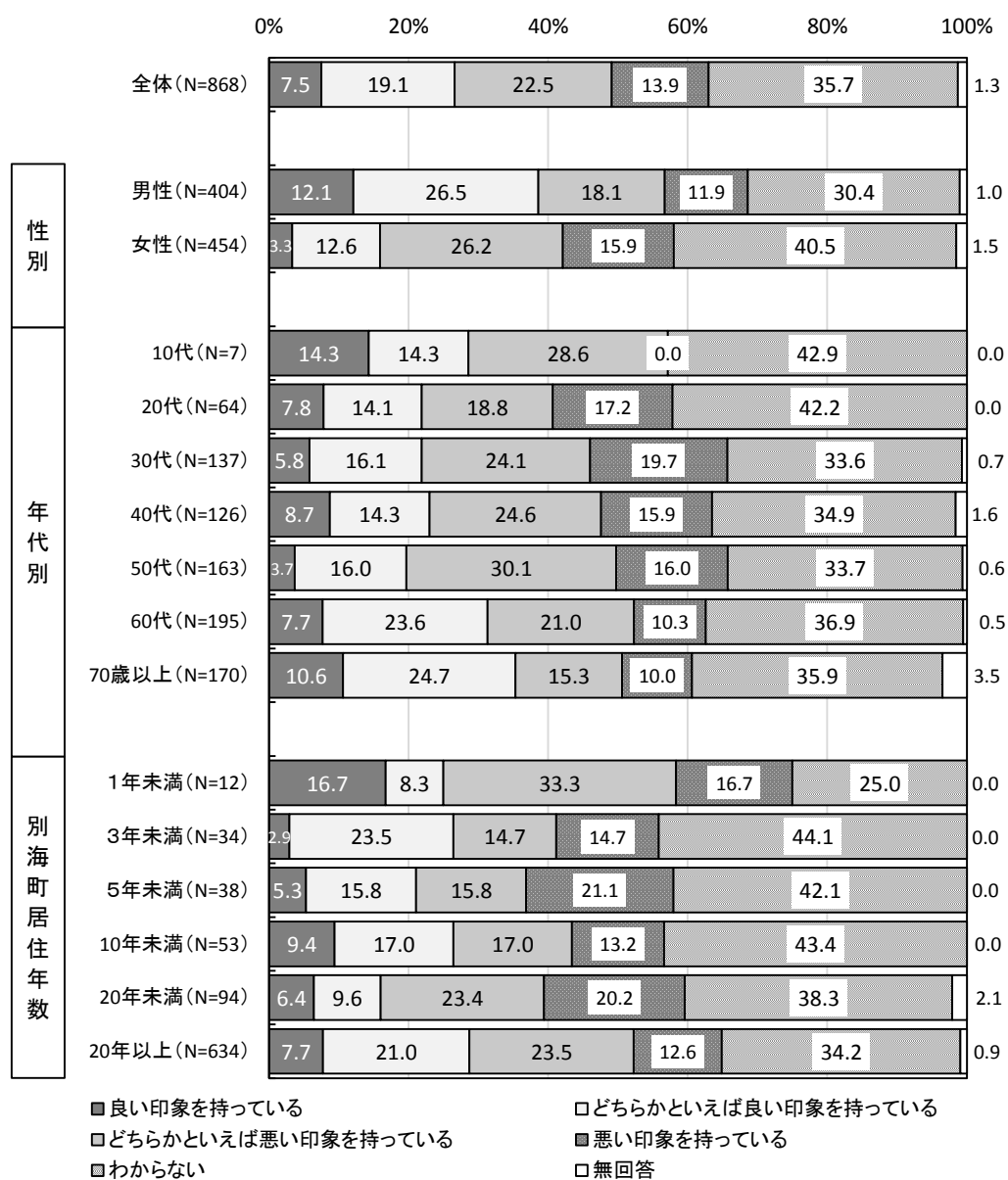


図 2 - 28 米海兵隊の印象（性別・年代別・別海町居住年数）

3) 自衛隊等に期待することについて

6-3 自衛隊等に期待することについて、お聞かせください。

【交流活動について】(○はいくつでも)

交流活動について自衛隊等に期待することについて尋ねたところ、「地域内での奉仕活動」が49.9%と最も多く。以下、「地域イベントへの協力」37.2%、「演奏会などの文化交流」27.2%、「自衛隊活動に関するイベント開催」27.0%、「専門分野を生かした講師派遣」24.3%となっている。

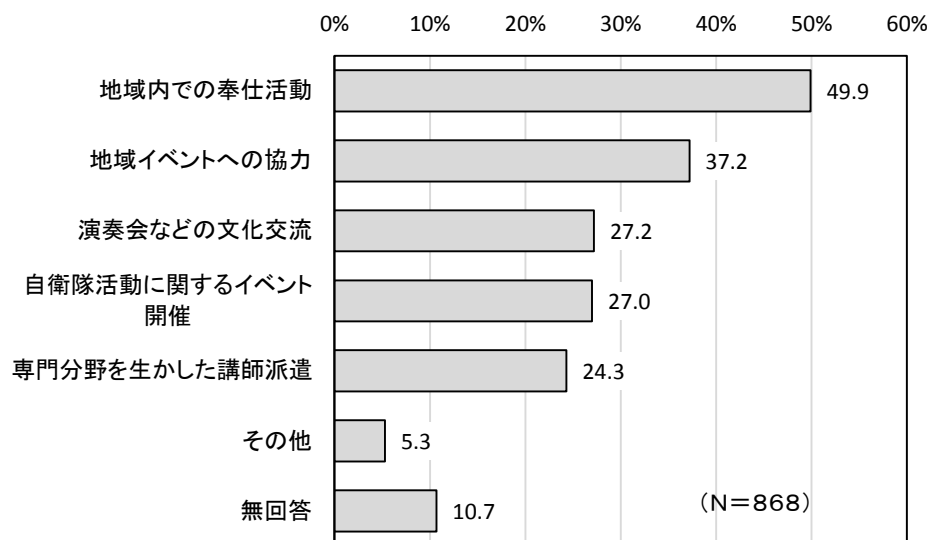


図 2-29 自衛隊等に期待することについて【交流活動について】

性別でみると、男女ともに「地域内での奉仕活動」が最も多くなっている。また、「自衛隊活動に関するイベント開催」は男性が 33.9%、女性が 20.9%と、男性が 13 ポイント上回っている。

年代別でみると、いずれの年代も「地域内での奉仕活動」が最も多くなっている。30 代・40 代では「専門分野を生かした講師派遣」、70 歳以上では「演奏会などの文化交流」が他の年代と比べて多くなっている。

(上段：実数) (下段：割合)		調査数	演奏会などの文化交流	専門分野を生かした講師派遣	地域内での奉仕活動	自衛隊活動に関するイベント開催	地域イベントへの協力	その他	無回答
全 体		868 100.0	236 27.2	211 24.3	433 49.9	234 27.0	323 37.2	46 5.3	93 10.7
性別	男性	404 100.0	109 27.0	112 27.7	194 48.0	137 33.9	157 38.9	21 5.2	39 9.7
	女性	454 100.0	124 27.3	99 21.8	234 51.5	95 20.9	161 35.5	25 5.5	53 11.7
年代別	10代	7 100.0	4 57.1	0 0.0	1 14.3	5 71.4	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	15 23.4	15 23.4	23 35.9	13 20.3	19 29.7	5 7.8	8 12.5
	30代	137 100.0	26 19.0	44 32.1	67 48.9	42 30.7	57 41.6	6 4.4	12 8.8
	40代	126 100.0	32 25.4	39 31.0	54 42.9	24 19.0	44 34.9	8 6.3	10 7.9
	50代	163 100.0	37 22.7	41 25.2	86 52.8	43 26.4	60 36.8	8 4.9	18 11.0
	60代	195 100.0	51 26.2	45 23.1	98 50.3	54 27.7	75 38.5	13 6.7	21 10.8
	70歳以上	170 100.0	69 40.6	25 14.7	100 58.8	51 30.0	63 37.1	6 3.5	23 13.5

表 2－1 2 自衛隊等に期待することについて【交流活動について】（性別・年代別）

6－3 自衛隊等に期待することについて、お聞かせください。

【災害支援について】（○はいくつでも）

災害支援について自衛隊等に期待することについて尋ねたところ、「被災者の救助・搬送」が80.5%と8割以上と最も多く。以下、「支援物資の輸送」75.8%、「災害復旧活動」72.8%、「避難所での炊き出し」43.2%、「防災訓練等の連携」26.6%、「災害支援活動の講演会」8.8%となっている。

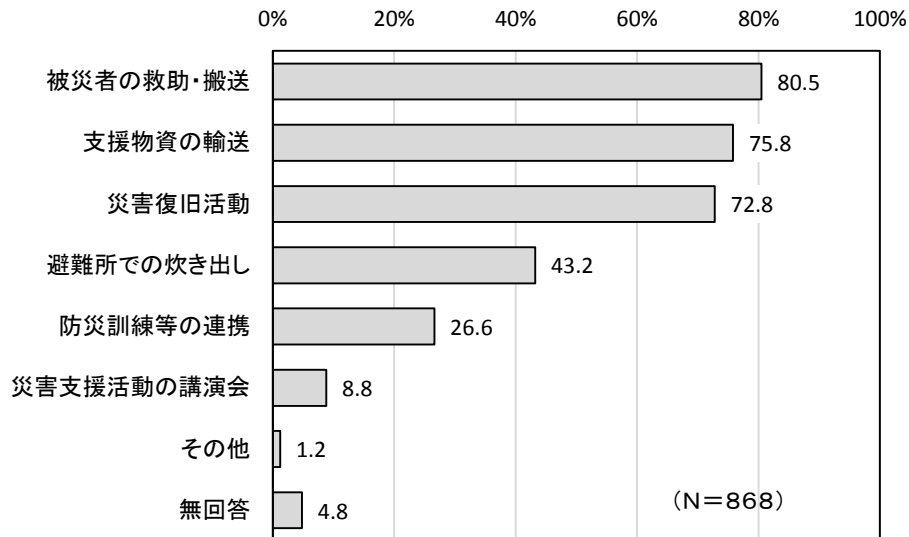


図2－30 自衛隊等に期待することについて【災害支援について】

性別でみると、男女間で差はみられない。

年代別でも大きな差はみられない。

		調査数 (上段：実数) (下段：割合)	支援物資の輸送	避難所での炊き出し	被災者の救助・搬送	防災訓練等の連携	災害復旧活動	災害支援活動の講演会	その他	無回答
全 体		868 100.0	658 75.8	375 43.2	699 80.5	231 26.6	632 72.8	76 8.8	10 1.2	42 4.8
性別	男性	404 100.0	308 76.2	182 45.0	317 78.5	112 27.7	294 72.8	37 9.2	6 1.5	21 5.2
	女性	454 100.0	341 75.1	188 41.4	375 82.6	119 26.2	331 72.9	38 8.4	4 0.9	21 4.6
年齢別	10代	7 100.0	6 85.7	3 42.9	6 85.7	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	43 67.2	28 43.8	50 78.1	16 25.0	39 60.9	4 6.3	2 3.1	2 3.1
	30代	137 100.0	110 80.3	68 49.6	117 85.4	39 28.5	97 70.8	14 10.2	2 1.5	3 2.2
	40代	126 100.0	92 73.0	54 42.9	100 79.4	33 26.2	92 73.0	13 10.3	2 1.6	5 4.0
	50代	163 100.0	126 77.3	64 39.3	135 82.8	42 25.8	126 77.3	8 4.9	1 0.6	8 4.9
	60代	195 100.0	149 76.4	71 36.4	161 82.6	53 27.2	153 78.5	18 9.2	1 0.5	5 2.6
	70歳以上	170 100.0	126 74.1	84 49.4	126 74.1	46 27.1	116 68.2	18 10.6	2 1.2	19 11.2

表 2－1 3 自衛隊等に期待することについて【災害支援について】（性別・年代別）

(7) より多くの人が住むまちを目指して

1) 現在住んでいる住宅の選んだ視点

7-1 現在住んでいる住宅は、どのような視点で選びましたか。(〇は1つまで)

現在住んでいる住宅の選んだ視点について尋ねたところ、「職場に近いから（自宅が職場である酪農家などを含む）」が25.2%と最も多く、以下、「生まれた時からずっと住んでいる」20.0%、「静かな環境だったから」14.1%、「購入価格、または家賃が安かった」8.5%、「公共交通や幹線道路へのアクセスが良かったから」1.7%となっている。

その他の意見としては「結婚したため」「親の土地」「社宅」などが多かった。

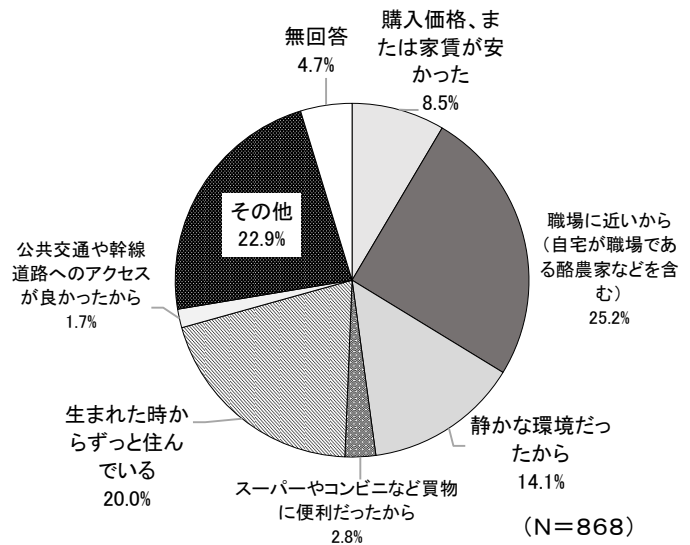


図2-31 現在住んでいる住宅の選んだ視点

性別でみると、男女ともに「職場に近いから（自宅が職場である酪農家などを含む）」が最も多くなっている。また男性は「生まれた時から住んでいる」が 23.8%と女性の 16.5%を 7.3 ポイント上回っている。

年代別でみると、20 代・30 代では「職場に近いから（自宅が職場である酪農家などを含む）」が他の年代よりやや多くなっている。70 歳以上では「生まれた時からずっと住んでいる」が 21.8%と最も多い。

居住歴別でみると、生まれてから、別海町にずっと住んでいる人は、「生まれた時からずっと住んでいる」の割合が 4 割を超えている。

別海町居住年数別でみると、20 年以上居住している人は「生まれた時からずっと住んでいる」という割合が多い。

居住形態でみると、一戸建て持ち家は「生まれた時からずっと住んでいる」の割合が多く、社宅・寮及び民間の賃貸住宅では「職場に近いから（自宅が職場である酪農家などを含む）」割合が多くなっている。

(上段：実数) (下段：割合)		調査数	購入が安かった、または	酪農家が近い職場に含める	職場に近いから	静かな環境だった	スナックなどから買い物に便利	生れた時から住んでいる	良好な交通アクセスが道	その他	無回答
全 体		868 100.0	74 8.5	219 25.2	122 14.1	24 2.8	174 20.0	15 1.7	199 22.9		41 4.7
性別	男性	404 100.0	28 6.9	111 27.5	66 16.3	13 3.2	96 23.8	6 1.5	66 16.3		18 4.5
	女性	454 100.0	46 10.1	105 23.1	54 11.9	11 2.4	75 16.5	9 2.0	133 29.3		21 4.6
年代別	10代	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	3 42.9		0 0.0
	20代	64 100.0	8 12.5	22 34.4	2 3.1	2 3.1	16 25.0	1 1.6	12 18.8		1 1.6
	30代	137 100.0	15 10.9	49 35.8	14 10.2	6 4.4	27 19.7	2 1.5	24 17.5		0 0.0
	40代	126 100.0	10 7.9	30 23.8	19 15.1	1 0.8	22 17.5	2 1.6	39 31.0		3 2.4
	50代	163 100.0	13 8.0	37 22.7	23 14.1	2 1.2	29 17.8	1 0.6	51 31.3		7 4.3
	60代	195 100.0	19 9.7	48 24.6	28 14.4	5 2.6	39 20.0	2 1.0	39 20.0		15 7.7
	70歳以上	170 100.0	9 5.3	32 18.8	34 20.0	7 4.1	37 21.8	7 4.1	30 17.6		14 8.2
	生まれてから、別海町にずっと住んでいる	238 100.0	18 7.6	32 13.4	33 13.9	5 2.1	109 45.8	5 2.1	27 11.3		9 3.8
居住歴	別海町出身だが、別海町以外での居住経験がある	212 100.0	21 9.9	51 24.1	25 11.8	3 1.4	58 27.4	3 1.4	42 19.8		9 4.2
	道内の他の市町村から転入してきた	281 100.0	28 10.0	93 33.1	43 15.3	11 3.9	2 0.7	3 1.1	84 29.9		17 6.0
	道外の市町村から転入してきた	127 100.0	6 4.7	40 31.5	17 13.4	5 3.9	3 2.4	4 3.1	46 36.2		6 4.7
別海町居住年数	1 年未満	12 100.0	0 0.0	5 41.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 58.3		0 0.0
	3 年未満	34 100.0	3 8.8	19 55.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 26.5		3 8.8
	5 年未満	38 100.0	2 5.3	16 42.1	5 13.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 39.5		0 0.0
	10年未満	53 100.0	3 5.7	23 43.4	3 5.7	3 5.7	0 0.0	1 1.9	16 30.2		4 7.5
	20年未満	94 100.0	10 10.6	20 21.3	17 18.1	5 5.3	9 9.6	1 1.1	29 30.9		3 3.2
	20年以上	634 100.0	56 8.8	136 21.5	97 15.3	16 2.5	165 26.0	13 2.1	122 19.2		29 4.6
居住形態	一戸建持ち家	630 100.0	41 6.5	132 21.0	112 17.8	18 2.9	159 25.2	11 1.7	131 20.8		26 4.1
	一戸建借家	33 100.0	8 24.2	6 18.2	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	13 39.4		2 6.1
	社宅・寮	81 100.0	5 6.2	46 56.8	1 1.2	0 0.0	2 2.5	0 0.0	21 25.9		6 7.4
	民間の賃貸住宅（アパート等）	39 100.0	5 12.8	18 46.2	3 7.7	3 7.7	0 0.0	0 0.0	10 25.6		0 0.0
	公営住宅	45 100.0	14 31.1	11 24.4	2 4.4	0 0.0	3 6.7	3 6.7	8 17.8		4 8.9
	その他	24 100.0	0 0.0	3 12.5	0 0.0	2 8.3	3 12.5	0 0.0	13 54.2		3 12.5

表 2－1 4 現在住んでいる住宅の選んだ視点（性別・年代別）

2) 住宅の周辺環境として不足していると感じるもの

7-2 住宅の周辺環境として、不足していると感じるものは何ですか。(〇は3つまで)

住宅の周辺環境として不足していると感じるものについて尋ねたところ、「公共交通機関」が35.9%と最も多く、以下、「スーパーやコンビニ」30.4%、「飲食店・スナック」19.7%、「公園や公民館、スポーツ施設などの公共施設」18.7%、「地域的なつながり」17.4%、「レジャーや娯楽（パチンコなど）施設」12.2%となっている。

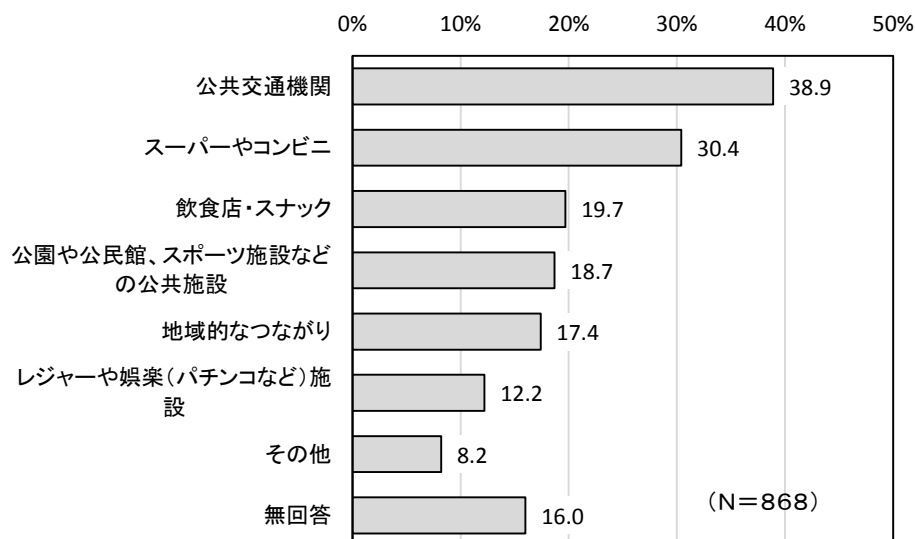


図2-32 住宅の周辺環境として不足していると感じるもの

性別でみると、男女ともに「公共交通機関」が最も多くなっている。

年代別でみると、20代～40代では「スーパーやコンビニ」が最も多く、50代以上では「公共交通機関」が最も多くなっている。また20代～50代では「飲食店・スナック」が他の年代よりやや多く、60代以上では「地域的なつながり」が他の年代より多くなっている。

居住歴別でみると、生まれてから、別海町にずっと住んでいる人は、「地域的なつながり」が他の居住歴よりやや多くなっている。

		調査数 (上段：実数) (下段：割合)	公共交通機関	公園や公民館、 施設などの公共施設	スーパーやコンビニ	レジャーや娯楽 (パチンコなど)施設	飲食店・スナック	地域的なつながり	その他	無回答
全 体		868 100.0	338 38.9	162 18.7	264 30.4	106 12.2	171 19.7	151 17.4	71 8.2	139 16.0
性別	男性	404 100.0	150 37.1	77 19.1	119 29.5	61 15.1	85 21.0	85 21.0	25 6.2	58 14.4
	女性	454 100.0	184 40.5	84 18.5	144 31.7	43 9.5	84 18.5	64 14.1	46 10.1	79 17.4
年代別	10代	7 100.0	5 71.4	0 0.0	1 14.3	2 28.6	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20代	64 100.0	18 28.1	21 32.8	27 42.2	15 23.4	21 32.8	7 10.9	5 7.8	6 9.4
	30代	137 100.0	42 30.7	41 29.9	50 36.5	31 22.6	42 30.7	11 8.0	14 10.2	13 9.5
	40代	126 100.0	40 31.7	20 15.9	41 32.5	19 15.1	29 23.0	14 11.1	15 11.9	16 12.7
	50代	163 100.0	80 49.1	22 13.5	49 30.1	14 8.6	35 21.5	23 14.1	16 9.8	25 15.3
	60代	195 100.0	78 40.0	29 14.9	45 23.1	16 8.2	18 9.2	52 26.7	15 7.7	35 17.9
	70歳以上	170 100.0	73 42.9	27 15.9	51 30.0	9 5.3	21 12.4	43 25.3	6 3.5	41 24.1
居住歴	生まれてから、 別海町にずっと住んでいる	238 100.0	81 34.0	37 15.5	69 29.0	22 9.2	44 18.5	48 20.2	9 3.8	53 22.3
	別海町出身だが、 別海町以外での居住経験がある	212 100.0	89 42.0	42 19.8	68 32.1	33 15.6	39 18.4	38 17.9	26 12.3	30 14.2
	道内の他の市町村から 転入してきた	281 100.0	109 38.8	61 21.7	88 31.3	37 13.2	57 20.3	50 17.8	22 7.8	38 13.5
	道外の市町村から転入してきた	127 100.0	57 44.9	21 16.5	35 27.6	12 9.4	28 22.0	10 7.9	14 11.0	17 13.4

表２－１５ 住宅の周辺環境として不足していると感じるもの（性別・年代別・居住歴）

3) 今後引っ越すとしたら、住みたい自治体

7-3 今後引っ越すとしたら、どの自治体に住んでみたいですか。(〇は1つだけ)

今後引っ越すとしたら、住みたい自治体について尋ねたところ、「中標津町」が42.1%と最も多く、以下、「別海町内の別な地域」6.1%、「標津町」1.0%、「根室市」0.5%、「羅臼町」0.1%となっている。

その他、道内外の自治体としては「札幌市」78件、「釧路市」31件、「帯広市」14件などである。

	件数	割合
札幌市	78	35.8
釧路市	31	14.2
帯広市	14	6.4
その他道内	41	18.8
その他道外	28	12.8
海外	2	0.9
その他	24	11.0
合計	218	100.0

※ 回答は複数回答である。

表2-16 その他、道内外の自治体内容内訳

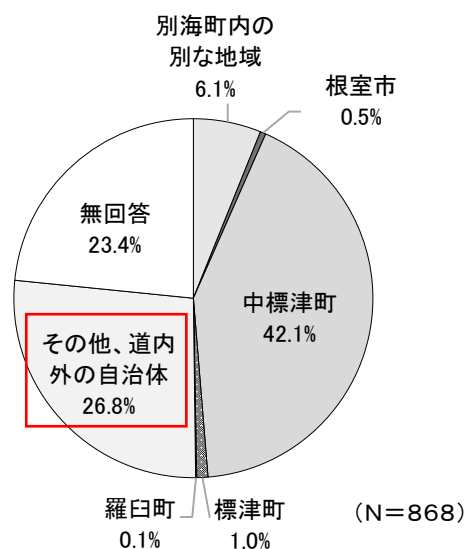


図2-33 今後引っ越すとしたら、住みたい自治体

性別でみると、男女間で差はみられない。

年代別でも大きな差はみられない。

(上段：実数) (下段：割合)		調 査 数	別 海 町 内 の 別 な 地 域	根 室 市	中 標 津 町	標 津 町	羅 臼 町	体 所 他 、 道 内 外 の 自 治	無 回 答
全 体		868 100.0	53 6.1	4 0.5	365 42.1	9 1.0	1 0.1	233 26.8	203 23.4
性 別	男性	404 100.0	24 5.9	2 0.5	164 40.6	5 1.2	0 0.0	111 27.5	98 24.3
	女性	454 100.0	28 6.2	2 0.4	194 42.7	4 0.9	1 0.2	121 26.7	104 22.9
年 代 別	10代	7 100.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0
	20代	64 100.0	2 3.1	1 1.6	34 53.1	2 3.1	0 0.0	20 31.3	5 7.8
	30代	137 100.0	4 2.9	0 0.0	71 51.8	3 2.2	0 0.0	41 29.9	18 13.1
	40代	126 100.0	9 7.1	2 1.6	42 33.3	1 0.8	0 0.0	51 40.5	21 16.7
	50代	163 100.0	14 8.6	0 0.0	63 38.7	0 0.0	0 0.0	56 34.4	30 18.4
	60代	195 100.0	6 3.1	0 0.0	95 48.7	2 1.0	0 0.0	38 19.5	54 27.7
	70歳以上	170 100.0	18 10.6	1 0.6	54 31.8	1 0.6	1 0.6	23 13.5	72 42.4
居 住 歴	生まれてから、 別海町にずっと住んでいる	238 100.0	16 6.7	2 0.8	101 42.4	1 0.4	0 0.0	43 18.1	75 31.5
	別海町出身だが、 別海町以外での居住経験がある	212 100.0	16 7.5	0 0.0	90 42.5	3 1.4	0 0.0	66 31.1	37 17.5
	道内の他の市町村から 転入してきた	281 100.0	11 3.9	1 0.4	124 44.1	3 1.1	1 0.4	85 30.2	56 19.9
	道外の市町村から転入してきた	127 100.0	10 7.9	1 0.8	45 35.4	1 0.8	0 0.0	36 28.3	34 26.8
別 海 町 居 住 年 数	1年未満	12 100.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	6 50.0	2 16.7
	3年未満	34 100.0	0 0.0	1 2.9	13 38.2	0 0.0	0 0.0	18 52.9	2 5.9
	5年未満	38 100.0	3 7.9	0 0.0	19 50.0	0 0.0	0 0.0	10 26.3	6 15.8
	10年未満	53 100.0	2 3.8	1 1.9	27 50.9	3 5.7	0 0.0	14 26.4	6 11.3
	20年未満	94 100.0	6 6.4	0 0.0	33 35.1	1 1.1	0 0.0	41 43.6	13 13.8
	20年以上	634 100.0	42 6.6	2 0.3	268 42.3	5 0.8	1 0.2	144 22.7	172 27.1

表 2-17 今後引っ越すとしたら、住みたい自治体
(性別・年代別・居住歴・別海町居住年数)

(8) まちのにぎわいを目指して

1) 別海地区の商店街に行く頻度

8-1 別海地区の商店街には、週または月に何回くらい行きますか。(○は1つだけ)

別海町商店街に行く頻度について尋ねたところ、「1週間に2～3回程度」が27.0%と最も多く、以下、「ほとんど行かない」22.8%、「1週間に1回程度」17.7%、「月に1回程度」12.6%、「ほぼ毎日」11.3%、「2週間に1回程度」7.7%となっている。『1週間に1回以上』行く人は、半数以上を占めている。

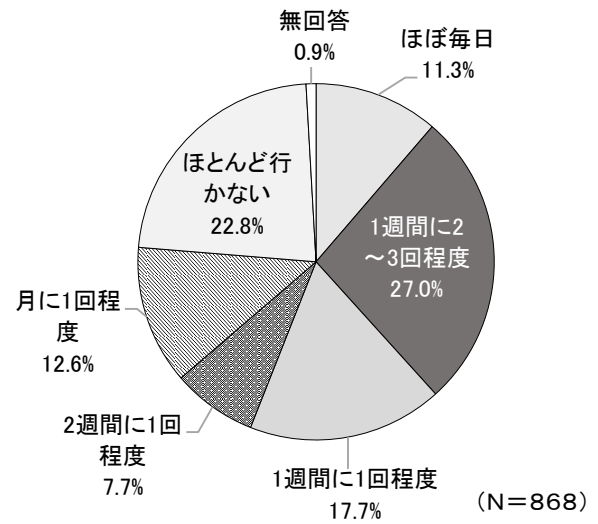


図2-34 別海地区の商店街に行く頻度

性別でみると、男女間で差はみられない。

年代別でみると、20代～40代では、年齢が高くなるにつれ、「ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられる。

居住歴別でみると、道外の市町村から転入してきた人以外は、「ほぼ毎日」に行く人がやや多い。別海町居住年数別でみると、3年未満～20年未満では居住年数が長くなるにつれて『1週間に2回以上』行く人が多くなる傾向にある。

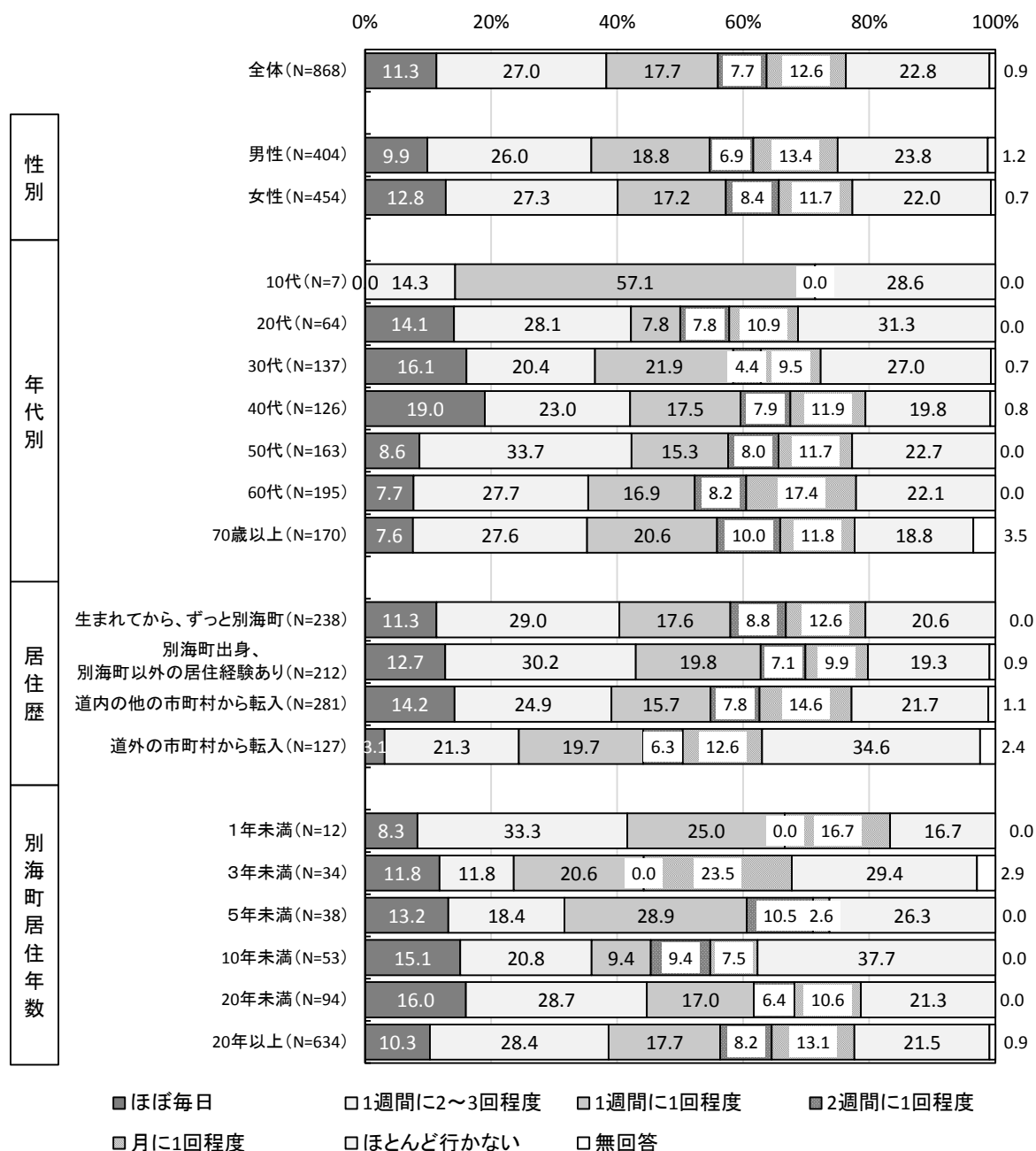


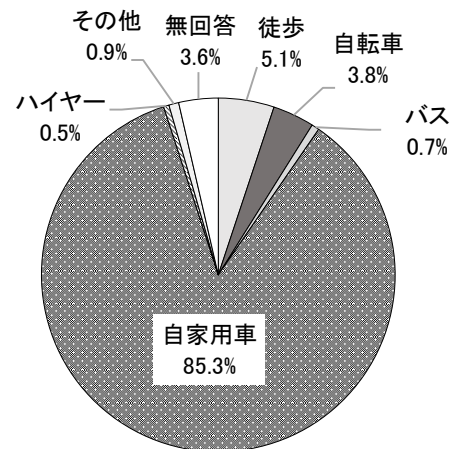
図 2 - 3 5 別海地区の商店街に行く頻度（性別・年代別・居住歴・別海町居住年数）

2) 別海地区の商店街への主な交通手段

8-2 別海地区の商店街を利用する際の主な交通手段は何ですか。(〇は1つだけ)

別海地区の商店街への主な交通手段について尋ねたところ、「自家用車」が85.3%と最も多く8割以上を占める。

以下、「徒歩」5.1%、「自転車」3.8%、「バス」0.7%、「ハイヤー」0.5%となっている。



(N=860)

図2-36 別海地区の商店街への主な交通手段

性別でみると、男女間で差はみられない。

年代別でみても、差はみられない。

		調査数	徒歩	自転車	バス	自家用車	ハイヤー	その他	無回答
(上段：実数) (下段：割合)									
全 体		860	44	33	6	734	4	8	31
		100.0	5.1	3.8	0.7	85.3	0.5	0.9	3.6
性 別	男性	399	19	16	2	344	1	4	13
		100.0	4.8	4.0	0.5	86.2	0.3	1.0	3.3
性 別	女性	451	25	17	4	381	3	4	17
		100.0	5.5	3.8	0.9	84.5	0.7	0.9	3.8
年 齢 別	10代	7	1	1	0	5	0	0	0
		100.0	14.3	14.3	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0
	20代	64	3	2	0	58	0	0	1
		100.0	4.7	3.1	0.0	90.6	0.0	0.0	1.6
	30代	136	5	1	0	129	0	0	1
		100.0	3.7	0.7	0.0	94.9	0.0	0.0	0.7
	40代	125	4	11	0	106	1	0	3
		100.0	3.2	8.8	0.0	84.8	0.8	0.0	2.4
年 齢 別	50代	163	5	3	1	144	0	2	8
		100.0	3.1	1.8	0.6	88.3	0.0	1.2	4.9
年 齢 別	60代	195	14	9	1	163	0	0	8
		100.0	7.2	4.6	0.5	83.6	0.0	0.0	4.1
年 齢 別	70歳以上	164	12	6	4	126	3	5	8
		100.0	7.3	3.7	2.4	76.8	1.8	3.0	4.9

図2-18 別海町商店街に行く頻度（性別・年代別・居住歴・別海町居住年数）

3) 別海地区の商店街へ行く理由

8-3 別海地区の商店街に行く理由として多い目的は何ですか。(〇は3つまで)

別海地区の商店街へ行く理由について尋ねたところ、「買い物（食料品）」が76.2%と最も多く、以下、「金融機関」31.9%、「買い物（食料品以外）」31.0%、「飲食・飲酒」15.6%などとなっている。

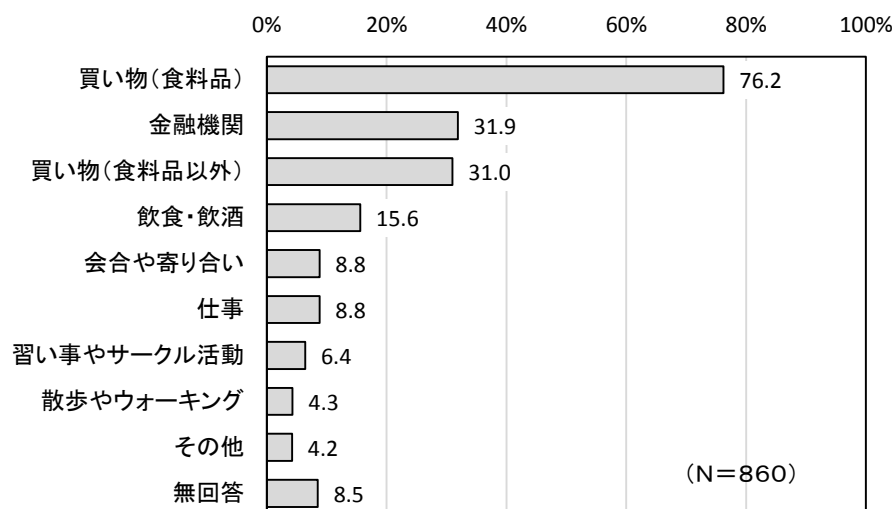


図2-37 別海地区の商店街へ行く理由

性別でみると、男女とも「買い物（食料品）」が最も多い。また、「金融機関」が女性が36.8%男性が26.3%と、女性の方が10.5ポイント上回っている。

年代別でみると、すべての年代で「買い物（食料品）」が最も多くなっている。また、20代では「金融機関」が39.1%と他の年代よりやや多くなっている。

		調査数	買い物 (食料品)	外 買い物 (食料品 以外)	飲食・ 飲酒	金融 機関	活動 い 事 や サ ー ク ル	会 合 や 寄 り 合 い	グ 散 歩 や ウ ォ ー キ ン	仕 事	そ の 他	無 回 答
(上段：実数) (下段：割合)												
全 体		860	655	267	134	274	55	76	37	76	36	73
		100.0	76.2	31.0	15.6	31.9	6.4	8.8	4.3	8.8	4.2	8.5
性 別	男性	399	284	124	72	105	13	48	18	41	16	33
		100.0	71.2	31.1	18.0	26.3	3.3	12.0	4.5	10.3	4.0	8.3
性 別	女性	451	363	141	61	166	41	28	16	34	20	40
		100.0	80.5	31.3	13.5	36.8	9.1	6.2	3.5	7.5	4.4	8.9
年 代 別	10代	7	6	1	3	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	85.7	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	64	47	25	18	25	0	2	1	10	4	2
		100.0	73.4	39.1	28.1	39.1	0.0	3.1	1.6	15.6	6.3	3.1
	30代	136	115	49	43	33	9	9	3	17	6	5
		100.0	84.6	36.0	31.6	24.3	6.6	6.6	2.2	12.5	4.4	3.7
	40代	125	98	30	25	38	4	5	2	16	3	7
		100.0	78.4	24.0	20.0	30.4	3.2	4.0	1.6	12.8	2.4	5.6
年 代 別	50代	163	119	40	19	58	11	18	4	16	10	15
		100.0	73.0	24.5	11.7	35.6	6.7	11.0	2.5	9.8	6.1	9.2
	60代	195	144	67	17	70	12	20	9	14	5	20
		100.0	73.8	34.4	8.7	35.9	6.2	10.3	4.6	7.2	2.6	10.3
年 代 別	70歳以上	164	123	54	9	49	19	22	18	3	8	21
		100.0	75.0	32.9	5.5	29.9	11.6	13.4	11.0	1.8	4.9	12.8

図2-19 別海地区の商店街へ行く理由（性別・年代別）

4) 今後、別海地区の商店街に求める業種

8-4 今後、別海地区の商店街に求める業種は何ですか。(〇はいくつでも)

今後、別海地区の商店街に求める業種について尋ねたところ、「町内の特産品が買える土産店」が40.8%と最も多く。以下、「書店」32.8%、「生鮮食品店」24.1%、「靴屋」23.7%、「雑貨や小物店」20.2%、「家具・インテリアの店」16.9%、「携帯電話販売店」16.6%などとなっている。

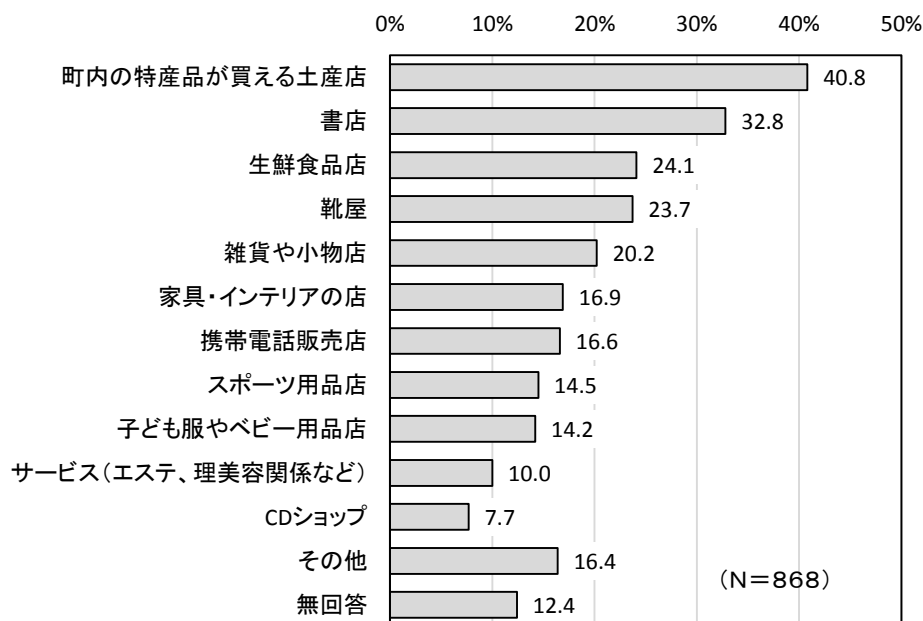


図2-38 今後、別海地区の商店街に求める業種

性別でみると、男女とも「町内の特産品が買える土産店」が最も多い。また、「靴屋」が女性で28.0%、男性が18.6%と、女性の方が9.4ポイント上回っている。

年代別でみると、20代~40代で「書店」が最も多くなっている。また、50代以上では「町内の特産品が買える土産店」が最も多い。

(上段：実数) (下段：割合)		調査数	生鮮食品店	携帯電話販売店	子ども服やベビー用品店	書店	雑貨や小物店	町内の特産品が買える土産店	CDショップ	家具・インテリアの店	サービス(エステ、理美容関係など)	靴屋	スポーツ用品店	その他	無回答
全 体		868	209	144	123	285	175	354	67	147	87	206	126	142	108
性別	男性	404	105	64	48	128	70	172	36	71	36	75	70	54	54
	女性	454	98	78	75	156	103	178	30	76	50	127	53	85	54
年代別	10代	7	1	4	1	5	4	2	3	1	0	3	1	1	0
	20代	64	12	13	17	24	16	18	11	14	13	8	10	12	6
	30代	137	19	29	45	62	43	42	11	29	22	32	29	26	10
	40代	126	24	24	17	46	20	44	14	18	14	31	22	23	14
	50代	163	27	33	11	58	30	75	10	29	17	42	30	32	16
	60代	195	62	21	22	50	34	88	10	37	13	53	21	26	27
	70歳以上	170	62	20	9	39	27	83	8	18	8	36	13	22	34
		100.0	36.5	11.8	5.3	22.9	15.9	48.8	4.7	10.6	4.7	21.2	7.6	12.9	20.0

図2-20 別海町商店街に行く頻度 (性別・年代別)